

**D-Link DAP-1150**  
**802.11g Wireless Access Point**

**ユーザマニュアル**



## 安全にお使いいただくために

ご自身の安全を確保し、システムを破損から守るために、以下に記述する安全のための指針をよくお読みください。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

本製品を安全にお使いいただくために、以下の項目をよくお読みになり必ずお守りください。

<b>△警告</b>	この表示を無視し、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になるおそれがあります。
<b>△注意</b>	この表示を無視し、まちがった使いかたをすると、傷害または物損損害が発生するおそれがあります。

記号の意味  してはいけない「禁止」内容です。  必ず実行していただく「指示」の内容です。

**△警告**

-  分解・改造をしない  
機器が故障したり、異物が混入すると、やけどや火災の原因と  
分解禁止 なります。
-  落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを  
与えたり、圧力をかけたりしない  
禁 止 故障の原因につながります。
-  発煙、焦げ臭い匂いの発生などの異常状態のまま  
使用しない  
禁 止 感電、火災の原因になります。  
使用を止めて、ケーブル／コード類を抜いて、煙が出なくなって  
から販売店に修理をご依頼してください。
-  ぬれた手でさわらない  
禁 止 感電のおそれがあります。
-  水をかけたり、ぬらしたりしない  
禁 止 内部に水が入ると、火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所、振動の激しい  
禁 止 ところでは使わない  
火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  内部に金属物や燃えやすいものを入れない  
禁 止 火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  表示以外の電圧で使用しない  
禁 止 火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  たこ足配線禁止  
禁 止 たこ足配線などで定格を超えると火災、感電、または故障の  
原因となります。
-  設置、移動のときは電源プラグを抜く  
禁 止 火災、感電、または故障のおそれがあります。
-  雷鳴が聞こえたら、ケーブル／コード類にはさわらない  
禁 止 感電のおそれがあります。

 禁 止 ケーブル／コード類や端子を破損させない  
無理なねじり、引っ張り、加工、重いものの下敷きなどは、  
ケーブル／コードや端子の破損の原因となり、火災、感電、  
または故障につながります。

 禁 止 正しい電源ケーブル、コンセントを使用する  
火災、感電、または故障の原因となります。

 禁 止 乳幼児の手の届く場所では使わない  
やけど、ケガ、または感電の原因になります。

 禁 止 次のような場所では保管、使用をしない  
・直射日光のあたる場所  
・高温になる場所  
・動作環境範囲外

 禁 止 光源をのぞかない  
光ファイバーケーブルの断面、コネクタ、および製品のコネクタを  
のぞきますと強力な光源により目を損傷するおそれがあります。

**△注意**

 静電気注意  
コネクタやプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを  
近づけますと故障の原因となります。

 コードを持って抜かない  
コードを無理に曲げたり、引っ張りますと、コードや機器の  
破損の原因となります。

 振動が発生する場所では使用しない  
接触不良や動作不良の原因となります。

 禁 止 付属品の使用は取扱説明書にしたがう  
付属品は取扱説明書にしたがい、他の製品には使用しないで  
ください。機器の破損の原因になります。

## 電波障害自主規制について

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書の記載に従って正しい取り扱いをしてください。

## 無線に関するご注意

### 電波に関するご注意

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線製品として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品の使用する上で、無線局の免許は必要ありません。

本製品は、日本国内でのみ使用できます。

以下の注意をよくお読みになりご使用ください。

◎ この機器を以下の場所では使用しないでください。

- 心臓ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器の近くで使用すると電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)
- 電子レンジの近くで使用すると、電子レンジによって無線通信に電磁妨害が発生します。

◎ 本製品は技術基準適合証明を受けています。本製品の分解、改造、および裏面の製品ラベルをはがさないでください。

### 2.4GHz 帯使用の無線機器の電波干渉に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用している移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

◎ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

◎ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止してください。

◎ その他、この機器から移動体通信用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
変調方式	DS-SS 方式 /OFDM 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避可能

### 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

◎ 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、以下の通信内容を盗み見られる可能性があります。

- ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
- メールの内容

◎ 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下の行為を行う可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

## ご使用上の注意

けがや感電、火災および装置の破損のリスクを減らすために、以下の注意事項を遵守してください。

- 保守マーク表示を守ってください。また、ドキュメント類に説明されている以外の方法でご使用はやめてください。三角形の中に稲妻マークがついたカバー類をあけたり外したりすると、感電の危険性を招きます。筐体の内部は、訓練を受けた保守技術員が取り扱うようにしてください。
- 以下のような状況に陥った場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いて、部品の交換をするかサービス会社に連絡してください。
  - 電源ケーブル、延長ケーブル、またはプラグが破損した。
  - 製品の中に異物が入った。
  - 製品に水がかかった。
  - 製品が落下した、または損傷を受けた。
  - 操作方法に従って運用しているのに正しく動作しない。
- 本製品をラジエータや熱源の近くに置かないでください。また冷却用通気孔を塞がないようにしてください。
- 食べ物や飲み物が本製品にかかるないようにしてください。また、水気のある場所での運用は避けてください。万一製品が濡れてしまった場合は、トラブルシューティングガイドの該当する文をお読みになるか、サービス会社に連絡してください。
- 本システムの開口部に物を差し込まないでください。内部コンポーネントのショートによる火事や感電を引き起こすことがあります。
- 本製品と一緒にその他のデバイスを使用する場合は、弊社の認定を受けたデバイスを使用してください。
- カバーを外す際、あるいは内部コンポーネントに触れる際は、製品の温度が十分に下がってから行ってください。
- 電気定格ラベル標記と合致したタイプの外部電源を使用してください。正しい外部電源タイプがわからない場合は、サービス会社、あるいはお近くの電力会社にお問い合わせください。
- システムの損傷を防ぐために、電源装置の電圧選択スイッチ(装備されている場合のみ)がご利用の地域の設定と合致しているか確認してください。
  - 東日本では 100V/50Hz、西日本では 100V/60Hz
- また、付属するデバイスが、ご使用になる地域の電気定格に合致しているか確認してください。
- 付属の電源ケーブルのみを使用してください。
- 感電を防止するために、本システムと周辺装置の電源ケーブルは、正しく接地された電気コンセントに接続してください。このケーブルには、正しく接地されるように、3ピンプラグが取り付けられています。アダプタプラグを使用したり、ケーブルから接地ピンを取り外したりしないでください。延長コードを使用する必要がある場合は、正しく接地されたプラグが付いている3線式コードを使用してください。
- 延長コードと電源分岐回路の定格を守ってください。延長コードまたは電源分岐回路に差し込まれているすべての製品の合計定格アンペア数が、その延長コードまたは電源分岐回路の定格アンペア限界の8割を超えないことを確認してください。
- 一時的に急激に起る電力の変動からシステムコンポーネントを保護するには、サーボサブレッサ、回線調整装置、または無停電電源装置(UPS)を使用してください。
- ケーブルと電源コードは慎重に取り付けてください。踏みつけられたりつまずいたりしない位置に、ケーブルと電源コードを配線し、コンセントに差し込んでください。また、ケーブル上に物を置いたりしないようにしてください。
- 電源ケーブルやプラグを改造しないでください。設置場所の変更をする場合は、資格を持った電気技術者または電力会社にお問い合わせください。国または地方自治体の配線規則に必ず従ってください。
- システムに対応しているホットプラグ可能な電源装置に電源を接続したり、切り離したりする際には、以下の注意を守ってください。
  - 電源装置を取り付ける場合は、電源装置を取り付けてから、電源ケーブルを電源装置に接続してください。
  - 電源装置を取り外す場合は、事前に電源ケーブルを抜いておいてください。
  - システムに複数の電源がある場合、システムから電源を切り離すには、すべての電源ケーブルを電源装置から抜いてください。
- 製品の移動は気をつけて行ってください。キャスターやスタビライザがしっかり装着されているか確認してください。急停止や、凹凸面上の移動は避けてください。

## 静電気障害を防止するため

静電気は、システム内部の精密なコンポーネントを損傷する恐れがあります。静電気による損傷を防ぐため、マイクロプロセッサなどの電子部品に触れる前に、身体から静電気を逃がしてください。シャーシの塗装されていない金属面に定期的に触れることにより、身体の静電気を逃がすことができます。

さらに、静電気放出（ESD）による損傷を防ぐため、以下の手順を実行することをお勧めします。

1. 静電気に敏感なコンポーネントを箱から取り出す時は、コンポーネントを取り付ける準備が完了するまで、コンポーネントを静電気防止包装から取り出さないでください。静電気防止包装から取り出す直前に、必ず身体の静電気を逃してください。
2. 静電気に敏感な部品を運ぶ場合、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
3. 静電気に敏感なコンポーネントの取り扱いは、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止床パッド、作業台パッド、および帯電防止接地ストラップを使用してください。

## バッテリの取り扱いについて

**警告** 不適切なバッテリの使用により、爆発などの危険性が生じことがあります。バッテリの交換は、必ず同じものか、製造者が推奨する同等の仕様のものをご使用ください。バッテリの廃棄については、製造者の指示に従って行ってください。

## 電源の異常

万一停電などの電源異常が発生した場合は、必ず本スイッチの電源プラグを抜いてください。電源が再度供給できる状態になってから電源プラグを再度接続します。

本製品には電源ケーブル抜け防止金具が同梱されております。本製品を製品背面の電源コネクタ部分に取り付けます。電源ケーブルを接続して金具に固定すると、ケーブルの抜けを防止することができます。

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

本書は、製品を正しくお使いいただくための取扱説明書です。必要な場合には、いつでもご覧いただけますよう大切に保管してください。

また、必ず本書、設置マニュアル、および同梱されている製品保証書をよくお読みいただき、内容をご理解いただいた上で、記載事項に従ってご使用ください。

- 本書および同梱されている製品保証書の記載内容に逸脱した使用の結果発生した、いかなる障害や損害において、弊社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 本書および同梱されている製品保証書は大切に保管してください。
- 弊社製品を日本国外でご使用の際のトラブルはサポート対象外になります。

なお、本製品の最新情報やファームウェアなどを弊社ホームページにてご提供させていただく場合がありますので、ご使用の前にご確認ください。また、テクニカルサポートをご提供のためにはユーザ登録が必要となります。

<http://www.dlink-jp.com/>

## 目次

安全にお使いいただくために.....	2
無線に関するご注意 .....	3
ご使用上の注意.....	4
静電気障害を防止するために.....	5
バッテリの取り扱いについて.....	5
電源の異常 .....	5
<b>はじめに</b>	<b>8</b>
本マニュアルの対象者.....	9
表記規則について .....	9
<b>第1章 本製品のご利用にあたって</b>	<b>10</b>
製品概要.....	10
サポートする機能 .....	10
無線 LAN について .....	11
本製品の通信モード .....	12
AP (アクセスポイント) モード .....	12
リピータモード .....	12
ワイヤレスクライアントモード .....	13
ポートについて .....	13
前面パネル .....	13
背面パネル .....	14
WPS ボタン .....	14
<b>第2章 アクセスポイントの設置</b>	<b>15</b>
パッケージの内容 .....	15
システム要件 .....	15
ネットワーク接続前の準備 .....	15
製品の設置 .....	16
アンテナの取り付け .....	16
イーサネットケーブルの接続.....	16
電源の投入 .....	16
壁面への設置 .....	16
縦置きスタンドへの取り付け.....	17
アクセスポイント設置後のネットワーク接続の例 .....	17
<b>第3章 Web ベース設定ユーティリティ</b>	<b>18</b>
設定メニューの操作 .....	18
<b>第4章 SET UP (セットアップ) メニュー</b>	<b>19</b>
Setup Wizard (セットアップウィザード) .....	19
Wireless Setup Wizard (ワイヤレスセットアップウィザード) .....	19
Add Wireless Device With WPS (アクセスポイントの追加) .....	30
Wireless Setup (無線設定) .....	32
AP モードの設定 .....	32
リピータモードでの設定 .....	33
ワイヤレスクライアントモードでの設定 .....	34
LAN Setup (LAN 設定) .....	35
<b>第5章 Advanced (アドバンス) メニュー</b>	<b>36</b>
Advanced Wireless (ワイヤレス詳細設定) .....	36
Access Control (アクセスコントロール設定) .....	37
<b>第6章 Maintenance (メンテナンス) メニュー</b>	<b>38</b>
Device Administration (パスワードの設定) .....	38
Save and Restore (セーブ / リストア) .....	39
Firmware Update (ファームウェア更新) .....	39
<b>第7章 Status (ステータス) メニュー</b>	<b>40</b>
Device Info (機器情報) .....	41
Log (ログ) .....	41
Statistic (統計) .....	42
Wireless (無線) .....	42

<u>第8章 無線セキュリティについて</u>	43
WEP 設定.....	43
WPA、WPA2、WPA2-Auto (Personal) の設定 .....	44
WPA、WPA2、WPA2-Auto (Enterprise) の設定 .....	45
<u>付録 A 工場出荷時設定に戻す</u>	46
<u>付録 B よくお問い合わせいただくご質問 (FAQ)</u>	46
<u>付録 C 基本的なネットワークの設定</u>	48
IP アドレスのチェック .....	48
固定 IP アドレスの割り当て .....	49

## はじめに

DAP-1150 ユーザマニュアルは、本製品のインストールおよび操作方法を例題と共に記述しています。

### 第1章 本製品のご利用にあたって

- 本製品の概要とその機能について説明します。また、前面、背面の各パネルと LED 表示について説明します。

### 第2章 アクセスポイントの設置

- 本製品の基本的な設置方法と接続方法について説明します。

### 第3章 Web ベース設定ユーティリティ

- Web ベースの管理機能への接続方法および設定方法について説明します。

### 第4章 SET UP (セットアップ) メニュー

- 本製品のセットアップ方法について説明します。

### 第5章 Advanced (アドバンス) メニュー

- 本製品の無線の詳細設定、アクセスコントロールの設定について説明します。

### 第6章 Maintenance (メンテナンス) メニュー

- 本製品のパスワードの設定や、ファームアップについて説明します。

### 第7章 Status (ステータス) メニュー

- 本製品のステータス情報やログ情報などについて説明します。

### 第8章 無線セキュリティについて

- 本製品のセキュリティ設定について説明します。

### 付録 A 本製品を工場出荷時設定に戻す

- 本製品のリセットボタンで工場出荷時設定に戻す方法について説明します。

### 付録 B よくお問い合わせいただくご質問 (FAQ)

- 本製品のインストールと操作で発生する問題への解決策を提供します。

### 付録 C ネットワークの基本設定

- 基本的な IP アドレスの設定および確認方法を説明します。

## 本マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の設置および管理についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者を対象としています。

## 表記規則について

本項では、本マニュアル中の表記方法について説明します。

**注意** 注意では、特長や技術についての詳細情報を記述します。

**警告** 警告では、設定の組み合わせ、イベントや手順によりネットワークの接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある事項について説明します。

表1に、本マニュアル中の字体・記号についての表記規則を表します。

表1 字体・記号の表記規則

字体・記号	解説	例
「」	メニュータイトル、ページ名、ボタン名。	「Submit」ボタンをクリックして設定を確定してください。
青字	参照先。	" <a href="#">ご使用になる前に</a> " (13ページ) をご参照ください。
courier フォント	CLI 出力文字、ファイル名。	(switch-prompt) #
courier 太字	コマンド、ユーザによるコマンドライン入力。	<b>show network</b>
courier 斜体	コマンド項目（可変または固定）。	value
<>	可変項目。<> にあたる箇所に値または文字を入力します。	<value>
[]	任意の固定項目。	[value]
[<>]	任意の可変項目。	[<value>]
{}	{ } 内の選択肢から 1 つ選択して入力する項目。	{choice1   choice2}
(垂直線)	相互排他的な項目。	choice1   choice2
Menu Name >	メニュー構造を示します。	Device > Port > Port Properties は、「Device」メニューの下の「Port」メニューの「Port Properties」メニューオプションを表しています。
Menu Option		

## 第1章 本製品のご利用にあたって

- 製品概要
- サポートする機能
- 無線 LAN について
- 本製品の接続モード
- ポートについて
- 前面パネル
- 背面パネル
- WPS ボタン

ここでは、本製品の概要とその機能について説明します。また、前面、背面の各パネルと LED 表示について説明します。

### 製品概要

DAP-1150 は SOHO 環境などのワイヤレスネットワークを広範囲に構築する、セキュアかつシンプルな IEEE 802.11g 準拠のワイヤレスアクセスポイントです。可変型アンテナを搭載し、背面のスイッチで 3 種類の通信モードを切り替えることで、屋内の様々な環境に対応します。独自のセットアップウィザードと WPS 規格準拠のシンプルな機能管理でワイヤレスネットワークを簡単に構築、管理することができます。ワイヤレスネットワーク上での不正アクセスを防止する WPA/WPA2 や WEP などの無線セキュリティ機能を搭載、アクセスポイントとして必要充分なセキュリティを確保し、安心で安全、そして安定したワイヤレスネットワーキングを実現することができます。

#### SOHO 抱点等に最適なアクセスポイント

DAP-1150 は 802.11g に準拠したシンプルな SOHO 向けワイヤレスアクセスポイントです。802.11b 対応機器への下位互換性も維持しており、PC やプリンタサーバなどのあらゆるネットワーク機器を 2.4GHz の周波数域で無線接続することができます。本製品をブロードバンドルーターなどに接続するだけで、お使いの PC で屋内の様々な場所からインターネット接続を楽しむことができます。

#### 充実のワイヤレスセキュリティ

DAP-1150 はネットワークとワイヤレスデータのセキュリティ保護のために 64/128 ビット WEP の暗号化機能や WPA/WPA2 機能が搭載されています。加えて MAC アドレスフィルタリングや SSID ブロードキャスト無効化設定により、ネットワークへの外部からの侵入を可能な限り制限することで、セキュアなワイヤレスネットワークを管理、維持することができます。

#### 簡単セットアップ & シンプル管理

D-Link のセットアップウィザードと WPS (Wi-Fi Protected Setup) 対応により、本製品のインストールやセットアップは簡素化されており、初期設定からシンプルに導入することができます。背面に設置された通信モード切り替えスイッチで通信モードを使い分けることができ、ワイヤレスネットワークの構築や管理、セキュリティ機能の有効化などを簡単に行うことができます。

### サポートする機能

- 3 つの動作モード  
さまざまな無線ネットワーク条件に適応するための 3 種類の動作モード (AP モード、リピータモード、ワイヤレスクライアントモード) を提供。
- IEEE 802.11b に対応し、最大 11Mbps までの無線データ転送速度を供給しているので、システムの接続性を損なうことなく、IEEE 802.11g に移行できます。
- WPS (Wi-Fi Protected Setup) 対応により簡単に導入の接続設定ができます。
- IEEE 802.11g 規格と互換性があり、2.4GHz 周波数範囲において最大 54Mbps の無線転送速度を提供します。
- WPA による強固なセキュリティ  
従来の規格よりさらに高度な暗号化方式である WPA(Wi-Fi Protected Access) を採用し、クライアントとネットワークを安全に接続します。
- OFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing) 技術の採用。
- 10/100M イーサネットポート x 1。
- 2.4 ~ 2.5GHz 周波数範囲で作動。

#### 注意

最大の無線信号速度は IEEE 802.11g 仕様書を参考にしています。実際のデータスループットは異なります。ネットワーク条件と環境には、ネットワークトラフィック量、建築材料や工事、ネットワークオーバヘッドが含まれ、実際のデータスループット速度は低くなります。環境条件は無線信号範囲に悪影響を与えます。

## 無線 LAN について

業界標準に基づく弊社の無線 LAN 製品は、ご家庭や職場または公共の施設において、使いやすく互換性の高い高速の無線接続を提供します。これらを使用して時間や場所に関わらず必要なデータにアクセスすることができます。

WLAN は家庭やオフィス環境のみならず、空港やコーヒーショップ、または大学など公共の施設においても幅広く利用されるようになってきました。この WLAN 技術を用いることにより、仕事やコミュニケーションがさらに効率的に行えるようになってきています。無線技術により可動性が増し、配線や固定のインフラが減少したことにより大きなメリットが生まれました。

ノート型やデスクトップ型 PC に使用する無線アダプタはイーサネットのアダプタカードと同じプロトコルをサポートしており、無線ユーザは有線ネットワークと同じアプリケーションを利用できるようになりました。

### WLAN 技術を利用するさまざまな理由

- 可動性

WLAN の動作範囲内のどこからでもデータにアクセス可能であり、生産性を向上します。また、リアルタイムな情報に基づく管理により作業効率が向上します。

- 低い実現コスト

WLAN は設置、管理、変更、移転のすべてが簡単です。このような WLAN の扱いやすさはネットワークの変更が頻繁に要求される環境に適しています。WLAN は有線ネットワークでは困難であった場所へのネットワーク導入を可能にします。

- 簡単な設置と拡張

煩わしい複雑なケーブル配線作業、特に壁や天井へのケーブル敷設の必要がないため、手早く簡単にシステムの設置を行うことができます。無線技術は、ネットワークを家庭やオフィスを超えて拡張することで、さらなる多用途性を提供します。

- 低コストのソリューション

無線 LAN デバイスは、従来のイーサネット用機器とほぼ同等の価格設定となっています。本製品は設定可能な 4 つのモードで多機能性を提供し、コスト削減を行います。

- 柔軟性

配置する無線 LAN デバイスの数によって、ピアツーピアのネットワークが適している小さなユーザグループから、100 ~ 1000 人のユーザを収容する大規模なインフラネットワークまで、自由自在に構築することができます。

### 世界基準対応の技術

DAP-1150 無線アクセスポイントは、IEEE 802.11b、IEEE 802.11g に準拠しています。

対応する IEEE 802.11b および IEEE 802.11g 規格により無線通信速度は、最大 54Mbps まで高速化され、2.4GHz 帯の周波数を利用し「OFDM」技術をサポートしています。

これにより、多くの環境化において、無線サービスエリア内でネットワークによる大容量の送受信や遅延の少ない MPEG 形式の映像の視聴などが可能になります。OFDM(Orthogonal Frequency Division Multiplexing) という技術により、この大容量のデジタルデータの高速伝送を無線で行うことができます。OFDM では、無線信号を小さいサブ信号に分割し、それらを同時に異なる周波数で送信します。OFDM により、信号伝送時のクロストーク（干渉）の発生を抑えることが可能です。

本製品は自動的に最適な通信速度を検出し、高速で広範囲の通信エリアを確保します。

本製品は、「WPA」を含む現在最も先進的なネットワークセキュリティ機能を提供します。

WPA/WPA2 には企業向けの「Enterprise」とホームユーザ向けの「Personal」の 2 種類があります。「WPA-Personal」と「WPA2-Personal」はユーザ認証に必要なサーバ機器を持たないホームユーザを対象としています。その認証方法は、無線ルータやアクセスポイントに「Pre-Shared Key(事前共有鍵)」の定義を行うという点で WEP と似ています。クライアントとアクセスポイントの両方において、事前共有鍵が確認され条件が満たされた時にアクセスが認められます。暗号化には、パケット単位の動的なハッシングを行う「TKIP(Temporal Key Integrity Protocol)」と呼ばれる方式を採用しています。また、インテグリティチェック機能により無線通信時のデータの改ざんを防止します。

「WPA-Enterprise」と「WPA2-Enterprise」は既にセキュリティ用にインフラが整備されている企業を対象としています。ネットワーク内のサーバを中心にはネットワーク管理とセキュリティの実施を行うような環境を想定しています。

ネットワーク管理者は、RADIUS サーバ上で 802.1X を使用し、無線 LAN へのアクセスを許可するユーザのリストを定義します。「WPA-Enterprise」または「WPA2-Enterprise」を実装した無線 LAN にアクセスする場合、ユーザはユーザ名とパスワードの入力を要求されます。ユーザがネットワーク管理者によってアクセスを許可されており、正しいユーザ名とパスワードを入力すると、ネットワークへのアクセスが可能になります。例えば、ある社員が会社を辞めるというような場合、ネットワーク管理者がアクセス許可者のリストからその社員のデータを削除すれば、ネットワークを危険にさらすことは避けることができます。

EAP(Extensible Authentication Protocol) は Windows XP に実装されています。802.1X の機能を使用する際には、ネットワーク内のすべてのデバイス上の EAP タイプを同一のものにする必要があります。

**注意** 最大の無線信号速度は IEEE 802.11g 仕様書を参考にしています。実際のデータスループットは異なります。ネットワーク条件と環境には、ネットワークトラフィック量、建築材料や工事、ネットワークオーバヘッドが含まれ、実際のデータスループット速度は低くなります。環境条件は無線信号範囲に悪影響を与えます。

## 本製品の通信モード

本アクセスポイントには次の3つの通信モード(APモード、リピータモード、ワイヤレスクライアントモード)があります。ご使用のネットワークにあわせてご使用ください。

### AP(アクセスポイント)モード

無線アクセスポイントと無線クライアントのネットワークを構築します。



### リピータモード

DAP-1150を使用してワイヤレスルータの接続範囲を拡大します。



## ワイヤレスクライアントモード

イーサネット用機器向けの無線ネットワークアダプタとして動作します。



## ポートについて

- ・エンドステーション、サーバ、ハブなどのネットワークデバイスとの接続および設定・管理用に1ポートのUTP(Auto MDI/MDI-X)ポートを有します。
- ・UTPポートは10Mbps/100M/1000Mbps、半二重 / 全二重間のオートネゴシエーション機能、フローコントロール、およびPoE受電機能をサポートしています。

### 前面パネル

DAP-1150 の前面パネルには、ステータスを表示する Power LED、WLAN LED および LAN LED が配置されています。

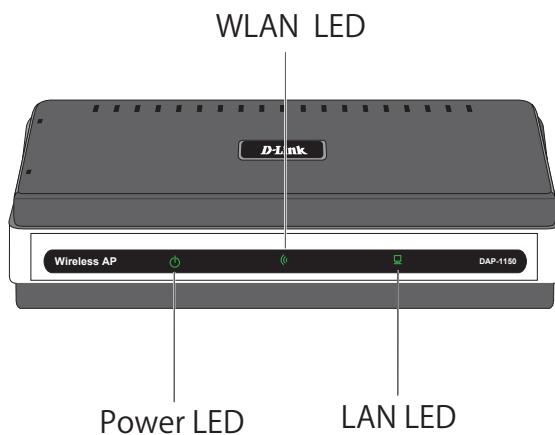


図 1-1 前面パネル図

## 本製品のご利用にあたって

ステータス LED は以下の状態を表示します。

表 1-1 DAP-1150 LED 表示

LED	色	状態	状態説明
Power	緑	点灯	電源が供給され正常に動作しています。
WLAN	緑	点灯	無線 LAN による通信が可能な状態です。
		点滅	無線 LAN によりデータを送受信しています。
LAN	緑	点灯	ネットワークにリンクしています。
		点滅	ネットワーク上でデータを送受信しています。
	—	消灯	リンクが確立していません。

## 背面パネル

DAP-1150 の背面パネルには、リセットボタン、アンテナ端子、電源コネクタおよび 10BASE-T/100BASE-TX ポートが配置されています。



図 1-2 背面パネル図

表 1-2 DAP-1150 背面パネル機能

部位	機能
LAN ポート	RJ-45 コネクタが搭載され、10BASE-T/100BASE-TX イーサネットへの接続が可能です。本ポートは NWay プロトコルをサポートしており、ネットワークの伝送速度を検知し、オートネゴシエーションを行います。10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上、100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 以上、1000BASE-T の場合はエンハンスドカテゴリ 5 以上の UTP/STP ケーブルを接続します。
通信モード切り替えスイッチ	「AP モード」「リピータモード」「ワイヤレスクライアントモード」の 3 種類の通信モードを切り替えます。
アンテナ端子	本製品に付属のアンテナを接続します。
リセットボタン	本製品を工場出荷時設定にリセットします。
電源コネクタ	付属の AC アダプタを接続します。

## WPS ボタン

DAP-1150 の右側面には、WPS ボタンが配置されています。

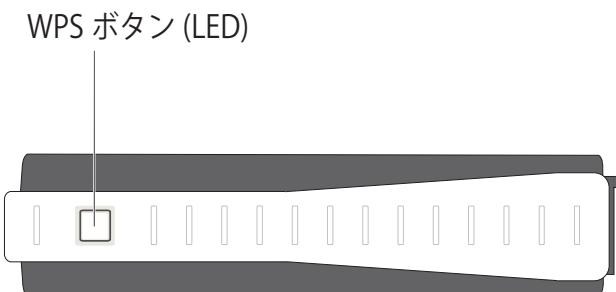


図 1-3 WPS ボタン

表 1-3 DAP-1150 WPS ボタン機能

部位	機能
WPS ボタン	WPS (WiFi Protected Setup) 機能使用時に使用します。正常に動作しているときはボタン周辺の LED が青く点灯 / 点滅します。

## 第2章 アクセスポイントの設置

- パッケージの内容
- システム要件
- ネットワーク接続前の準備
- 製品の設置

### パッケージの内容

ご購入いただいた製品の梱包箱を開け、同梱物を注意して取り出してください。以下のものが同梱されています。

- ・ 本体 x 1
- ・ アンテナ x 1
- ・ AC アダプタ x 1
- ・ 縦置きスタンド x 1
- ・ 壁掛けキット（ネジとアンカー） x 1
- ・ UTP ケーブル x 1
- ・ クイックインストールガイド
- ・ CD-ROM x 1
- ・ 製品保証書

万一、不足しているものや損傷を受けているものがありましたら、弊社ホームページにてユーザ登録を行い、サポート窓口までご連絡ください。

### システム要件

本製品が動作するためには、以下のシステム条件が必要です。

- ・ Internet Explorer 6.0 以上
- ・ イーサネットへの接続

### ネットワーク接続前の準備

アクセスポイントの設置場所が性能に大きな影響を与えます。以下のガイドラインに従って本製品を設置してください。

#### 設置にあたってのご注意

本製品の使用により、動作範囲内にて無線でネットワークアクセスが可能になりますが、壁や天井など無線信号が通過する物体の数や厚さ、場所などにより、動作範囲が制約を受ける場合があります。一般的には、構造物の材質や設置場所での無線周波数のノイズが動作範囲に影響を与えます。

1. 本製品と他のネットワークデバイスとの間に入る壁や天井の数をできるだけ少なくしてください。一枚の壁や天井の影響により、本製品の動作範囲は1～30 メートルの範囲となります。間にいる障害物の数を減らすようデバイスの位置を工夫してください。
2. ネットワークデバイス間の直線距離にご注意ください。厚さ 50 センチの壁を 45 度の角度で無線信号が通過する時、通り抜ける壁の厚みは約 1 メートルになります。2 度の角度で通過すると、通り抜ける厚みは 14 メートルになります。信号が障害物となるべく直角に通過するような位置にデバイスを設置し、電波を受信しやすくしてください。
3. 無線信号の通過性能は建築材料により異なります。金属製のドアやアルミの金具などは動作範囲を小さくする可能性があります。無線 LAN デバイスや無線 LAN アダプタ使用のコンピュータの設置は、信号がなるべく乾式壁か開放された戸口などを通るような位置に設置してください。
4. 周波数ノイズを発生する電気機器や家電製品からは、最低でも 1、2 メートル離してデバイスを設置してください。
5. 2.4GHz のコードレス電話または X-10（シーリングファン、ライト、およびホームセキュリティシステムなどの無線製品）を使っている場合、ご使用の無線接続は著しく性能が低下するか、または完全に切断される可能性があります。2.4GHz 電話の親機は可能な限りご使用の無線機器から離れていることを確認してください。電話を使用していない場合でも、親機は信号を送信します。
6. 必ず付属の UTP ケーブル、AC アダプタをご使用ください。

### 製品の設置

#### アンテナの取り付け

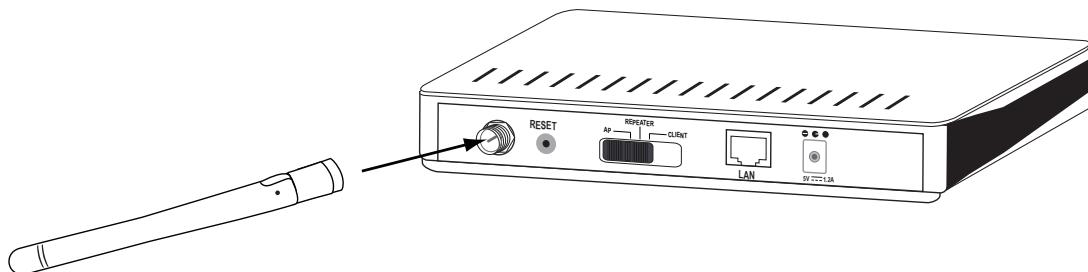


図 2-1 アンテナの取り付け (DAP-1150)

1. 付属の 1 本のアンテナを本体のアンテナ端子に取り付けます。取り付けの際には、アンテナは折り曲げずに本体のアンテナ接合部に接続し、右方向に回して締めます。
2. 取り付け後に折り曲げます。
3. 電波状況に合わせてアンテナの向きを変更します。

#### イーサネットケーブルの接続

1. イーサネットケーブルの一端を本製品の背面にある RJ-45 コネクタに接続し、もう一端をルータ、スイッチ等のネットワーク機器に接続します。

#### 電源の投入

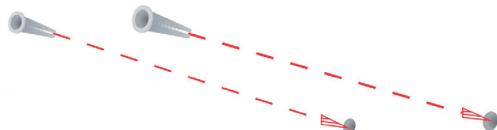
1. 付属の AC アダプタを接続し、AC アダプタのプラグを電源コンセントに接続します。
2. 本スイッチに電源が供給されると、Power LED が点灯します。

#### 壁面への設置

準備：本製品を壁面に設置するために以下のものをご用意ください。

- ・壁掛けキット（付属のネジとアンカー）

1. 壁面にアンカーを挿入する  
本体を設置する壁面に付属のアンカーを挿入し、アンカーにネジを差し込みます。



#### 注意

取り付け位置はアンテナの長さを考慮し、障害物や天井にぶつからない場所にしてください。

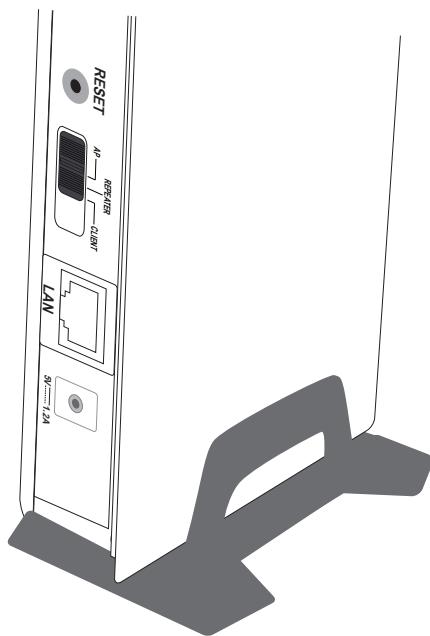
#### 注意

石膏ボードやベニヤなどに設置する場合は、あらかじめ壁の厚さを確認の上、きりやドリルで穴をあけて付属のアンカーボルトを埋め込んだ後にネジを取り付けてください。

3. 本製品を壁面に取り付ける  
壁面に取り付けたネジの頭（フック用）を、本体 2 力所の鍵穴に引っかけます。

## 縦置きスタンドへの取り付け

本製品を縦に立てて使用する場合は、付属のスタンドを使用します。電源コネクタ部分を下にしてスタンドに取り付けます。



## アクセスポイント設置後のネットワーク接続の例

1. インターネット接続を確認します。
2. ご契約のプロバイダに確認し、正しくモードムを設置します。
3. ケーブルモードムまたはADSLモードムをルータに接続します。接続に関する詳細については、ルータに付属の設置マニュアルを参照してください。
4. デスクトップ型コンピュータへの接続を行う場合は、無線アダプタをそれぞれのインターフェースに従って、空いているPCIスロット、USBポートなどに差し込み、必要に応じてドライバをインストールしてください。
5. ノート型コンピュータの場合は、無線アダプタをそれぞれのインターフェースに従って、空いているカードバススロット、USBポートなどに差し込み、必要に応じてドライバをインストールしてください。

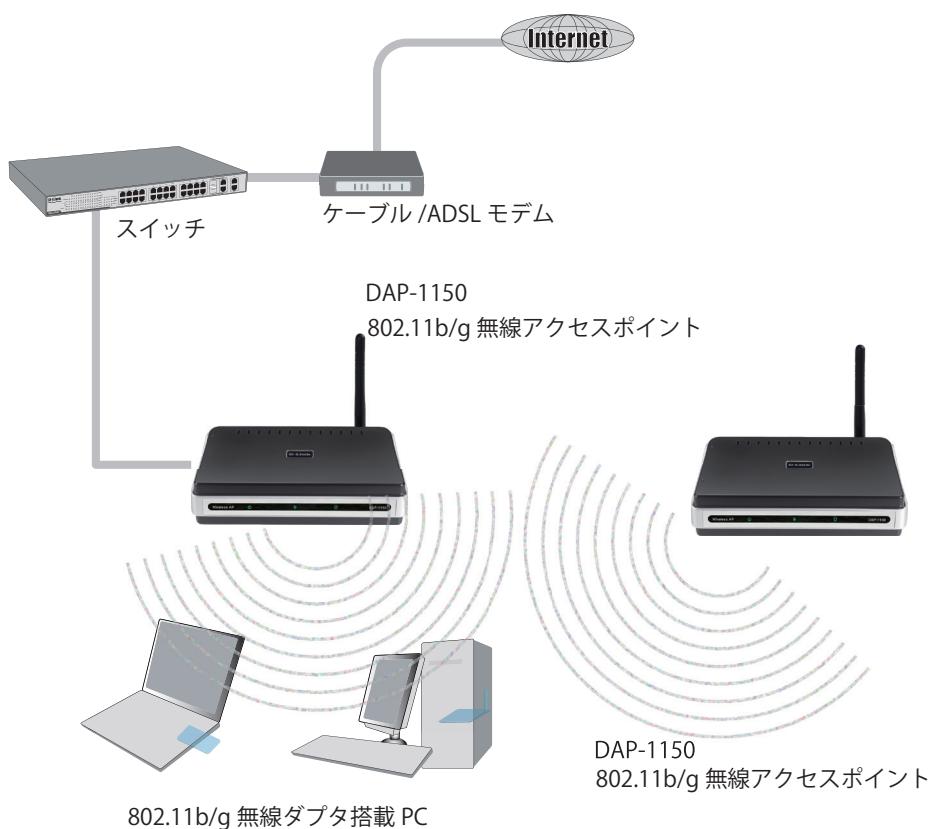


図 2-4 接続例

## 第3章 Web ベース設定ユーティリティ

### 設定メニューの操作

本製品の設定は UTP ケーブルで接続した PC から行います。ここでは、Windows XP で動作する画面で説明します。手順と画面は、他の Windows OS についても同じです。

1. プロキシサーバ機能を無効にします。Windows の「スタート」-「コントロールパネル」-「インターネットオプション」-「接続」タブ-「LAN の設定」の順にクリックし、「LAN にプロキシサーバを使用する」のチェックを外します。
2. Web ブラウザ (Internet Explorer) を起動します。
3. 本製品の製品名 (dlinkap) を入力し、(http://dlinkap) 「Enter」キーを押下します。設定用 PC と本製品の IP アドレスが同じサブネット内であることに注意してください。本製品の初期 IP アドレスは「192.168.0.50」です。



図 3-1 アドレス入力画面

4. 接続に成功すると、以下のログイン画面が表示されます。

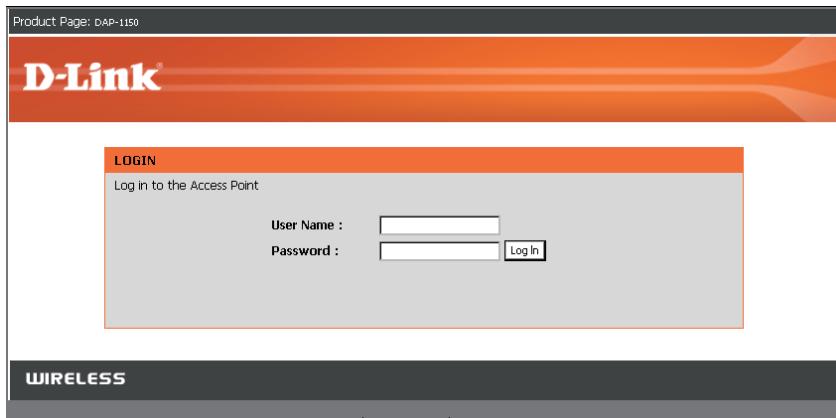


図 3-2 LOGIN 画面

5. 「User Name」に「admin」と入力します。「Password」には何も入力せずに、「Login」ボタンをクリックします。

**注意** 本製品の初期 IP アドレスは「192.168.0.50」です。ブラウザのアドレス欄に IP アドレスを入力してもログイン画面が表示されます。

6. ログインに成功すると以下の画面が表示されます。

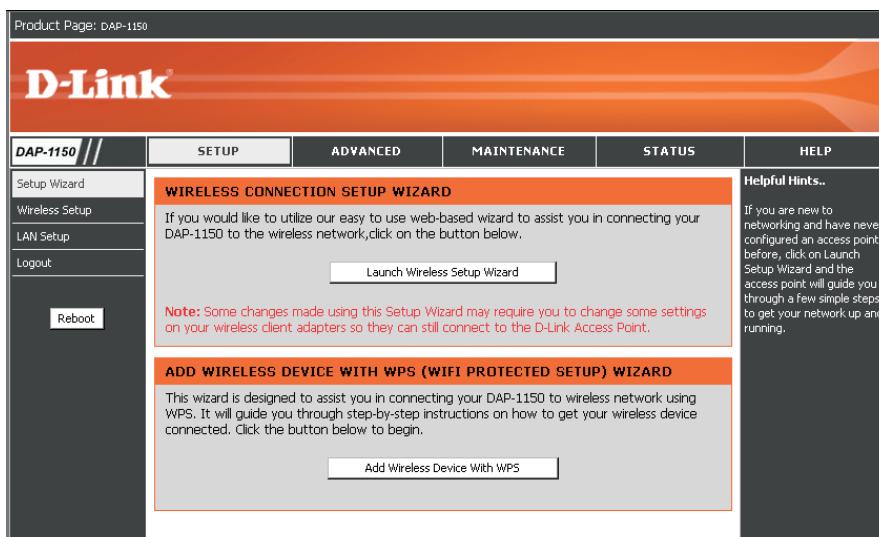


図 3-3 ログイン成功 (SET UP) 画面

## 第4章 SET UP (セットアップ) メニュー

下は本章のサブメニューの説明です。必要に応じて、設定 / 変更 / 修正を行ってください。

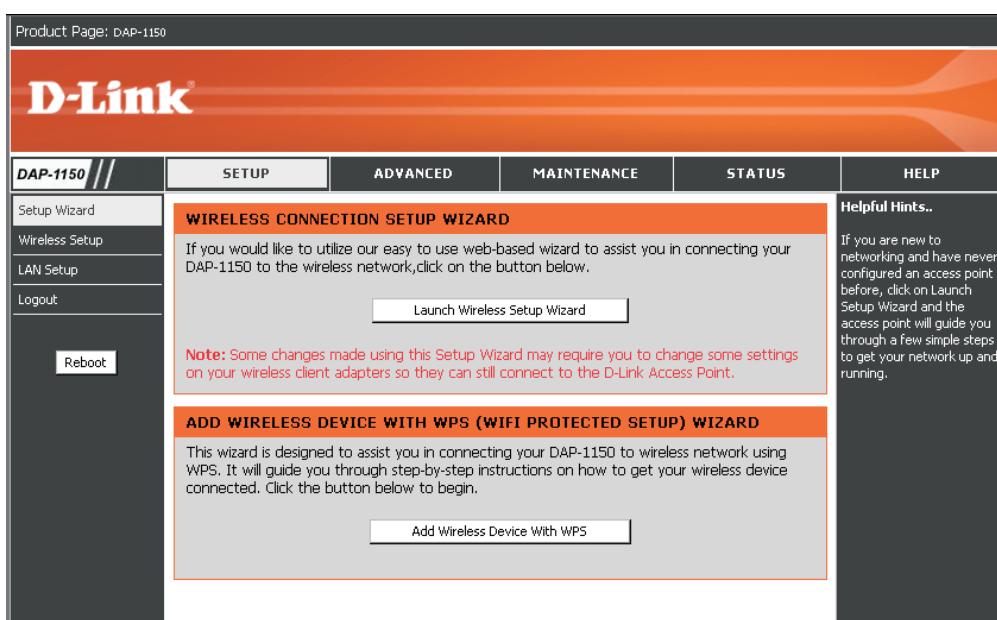
サブメニュー	説明	参照ページ
Setup Wizard (セットアップウィザード)	ウィザードでアクセスポイントのセットアップができます。	<a href="#">19 ページ</a>
Wireless Setup (無線設定)	各通信モードでの無線設定を行います。	<a href="#">32 ページ</a>
LAN Setup (LAN 設定)	LAN の設定をします。	<a href="#">35 ページ</a>

### Setup Wizard (セットアップウィザード)

#### Wireless Setup Wizard (ワイヤレスセットアップウィザード)

ログイン後、「SET UP」>「Setup Wizard」と進み、下記表示画面の「Launch Wireless Setup Wizard」をクリックして簡単にアクセスポイントの設定ができます。各通信モードで設定方法が異なりますので、設定する通信モードの説明を参照ください。

WPS (WiFi Protected Setup) を使用してアクセスポイントを追加する場合は、「Add Wireless Device With WPS」をクリックしてください。  
詳細は「Add Wireless Device With WPS (アクセスポイントの追加)」をご確認ください。



Wireless Setup Wizard は通信モードによって設定方法が異なります。ご使用の通信モードに合わせて設定手順をご確認ください。

## SET UP(セットアップ)メニュー

### ワイヤレスセットアップウィザード (AP モード)

#### AP モード (アクセスポイントモード)

本体背面「通信モード切り替えスイッチ」の「AP」を選択し「アクセスポイントモード」での「Wireless Setup Wizard」を開始します。

1. 「Launch Wireless Setup Wizard」をクリックしてください。

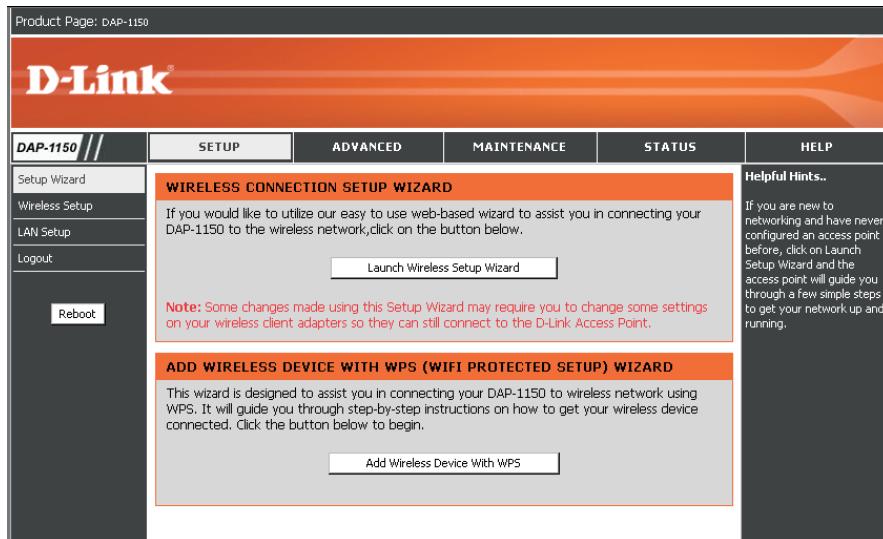
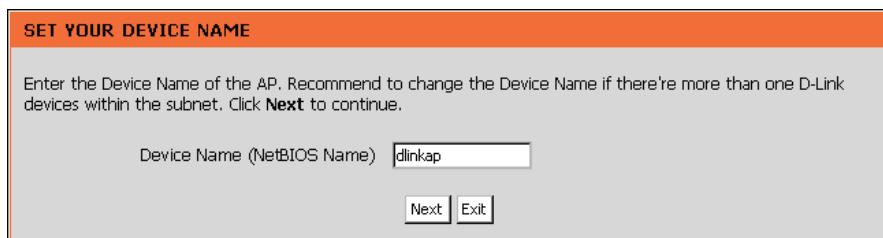
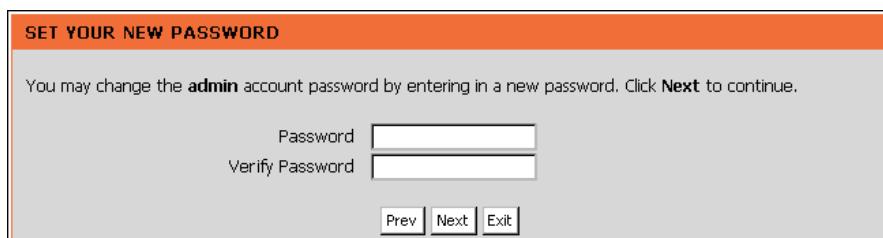


図 4-1 Launch Wireless Setup Wizard 画面

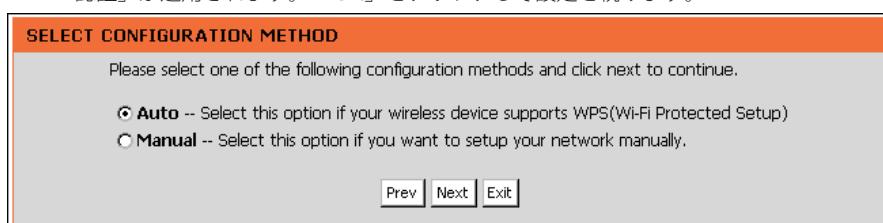
2. お使いのデバイス名を設定します。「Device Name」にデバイス名を入力し「Next」をクリックしてください。初期値のままでの設定もできますが、複数のアクセスポイントが同じサブネット内にある場合、固有のデバイス名の設定をお勧めします。



3. アカウントのパスワードを変更する場合、新しいパスワードと確認のパスワードを入力し、「Next」をクリックします。



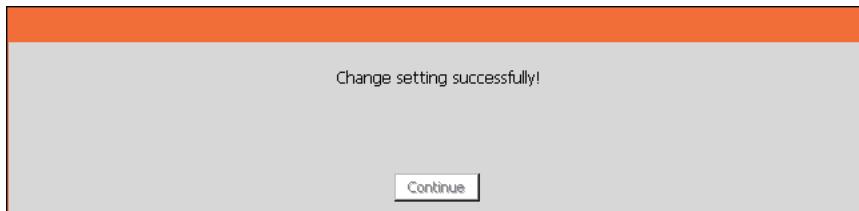
4. 使用する無線デバイスが WPS (WiFi Protected Setup) をサポートしている場合「Auto」を選択してください。手動で設定をする場合は「Manual」を選択してください。「Manual」を選択した場合の設定方法については、設定手順「7.」を参照してください。「Auto」を選択した場合自動的に「WPA 認証」が適用されます。「Next」をクリックして設定を続けます。



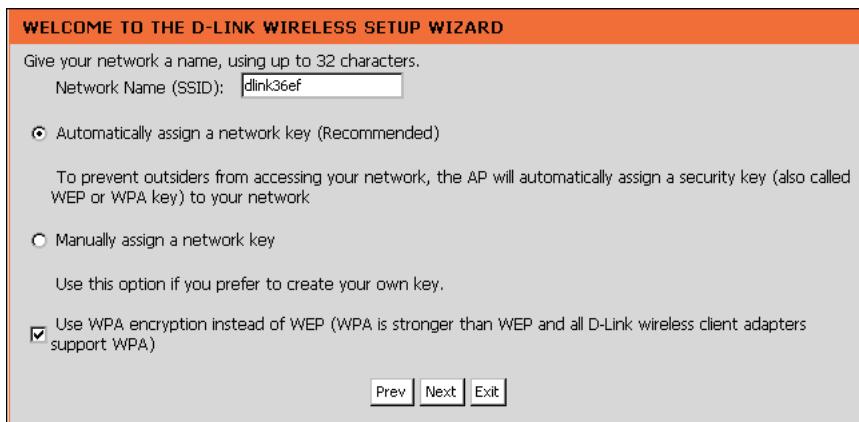
5. 「Save」をクリックして設定を保存してください。



6. ネットワーク設定の内容によってはアクセスポイントが自動的に再起動する場合があります。「Continue」をクリックしてログインページへ戻ります。



7. 手順「4.」で「Manual」を選択して「Next」をクリックした場合、以下の画面が表示されます。お使いのネットワーク名 (SSID) を入力して、「Automatically assign a network key」を選択してください。この時 WPA 認証の適用を選択していない場合、WEP 認証の設定が必要になります。手順「12.」へ進んでください。手動でネットワークキーを設定する場合は、「Manually assign a network key」を選択します。手動でネットワークキー設定をする場合は、手順「9.」を参照してください。「Next」をクリックします。

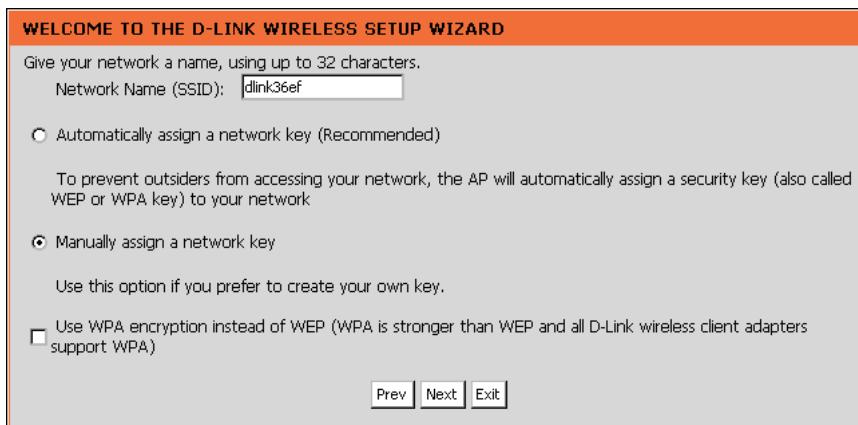


8. 上記手順で「WPA 認証」(一番下のチェックボックス)を選択した場合、お使いの無線機器に設定するネットワークキーが表示されます。「Save」をクリックしてセットアップウィザードを完了してください。

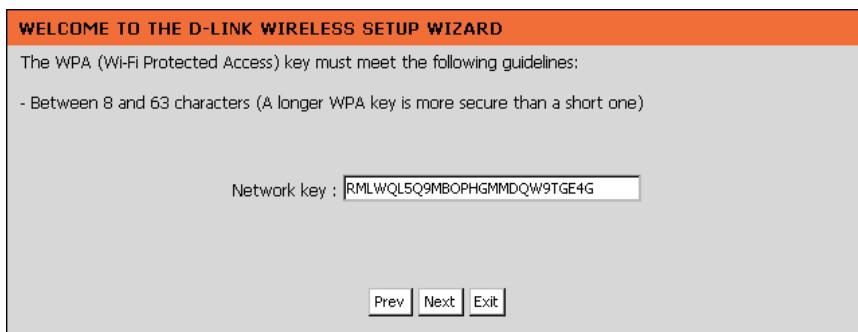


## SET UP(セットアップ)メニュー

9. 手順「7.」で「Manually assign a network key」を選択した場合、手動でネットワークキーを設定する必要があります。「Next」をクリックしてください。



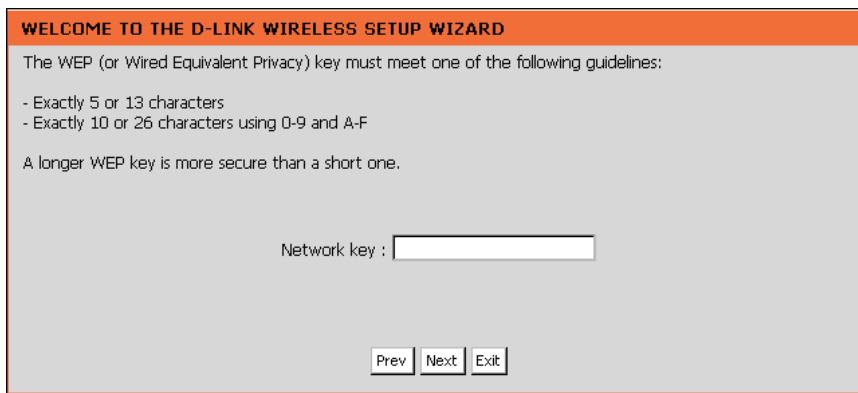
10. 「WPA」認証を選択している場合、ネットワークキーは8字から63字の英数字で設定してください。「Next」をクリックします。



11. お使いの無線機器に入力するネットワークキーが表示されます。「Save」をクリックしてセットアップウィザードを完了してください。



12. 「WPA認証」を選択しなかった場合、自動的に「WEP」認証が適用されます。ネットワークキーは5から13の英字、または10から26の英数字で設定してください。「Next」をクリックします。



13. お使いの無線機器に入力するネットワークキー (WEP 認証) が表示されます。「Save」をクリックしてセットアップウィザードを完了してください。

**WELCOME TO THE D-LINK WIRELESS SETUP WIZARD**

Please enter the following settings in the wireless device that you are adding to your wireless network and keep a note of it for future reference.

Wireless Network Name (SSID) :	dlink36ef
Wireless Security Mode :	WEP
Network Key :	admin

**Prev** **Save** **Exit**

## ワイヤレスセットアップウィザード（リピータモード）

### Repeater Mode (リピータモード)

本体背面「通信モード切り替えスイッチ」の「REPEATER」を選択し「リピータモード」での「Wireless Setup Wizard」を開始します。

1. 「Launch Wireless Setup Wizard」をクリックしてください。

Product Page: DAP-1150

**D-Link**

<b>DAP-1150 //</b>	<b>SETUP</b>	<b>ADVANCED</b>	<b>MAINTENANCE</b>	<b>STATUS</b>	<b>HELP</b>
--------------------	--------------	-----------------	--------------------	---------------	-------------

**WIRELESS CONNECTION SETUP WIZARD**

If you would like to utilize our easy to use web-based wizard to assist you in connecting your DAP-1150 to the wireless network, click the button below.

**Launch Wireless Setup Wizard**

**Note:** Some changes made using this Setup Wizard may require you to change some settings on your wireless client adapters so they can still connect to the D-Link Access Point.

**ADD WIRELESS DEVICE WITH WPS (WIFI PROTECTED SETUP) WIZARD**

This wizard is designed to assist you in connecting your DAP-1150 to wireless network using WPS. It will guide you through step-by-step instructions on how to get your wireless device connected. Click the button below to begin.

**Add Wireless Device With WPS**

**Helpful Hints..**

If you are new to networking and have never configured an access point before, click on Launch Setup Wizard and the access point will guide you through a few simple steps to get your network up and running.

2. お使いのデバイス名を設定します。「Device Name」にデバイス名を入力し「Next」をクリックしてください。複数のアクセスポイントが同じサブネット内にある場合、固有のデバイス名の設定をお勧めします。

**SET YOUR DEVICE NAME**

Enter the Device Name of the AP. Recommend to change the Device Name if there're more than one D-Link devices within the subnet. Click **Next** to continue.

Device Name (NetBIOS Name)

**Next** **Exit**

3. アカウントのパスワードを変更する場合、新しいパスワードと確認のパスワードを入力し、「Next」をクリックします。

**SET YOUR NEW PASSWORD**

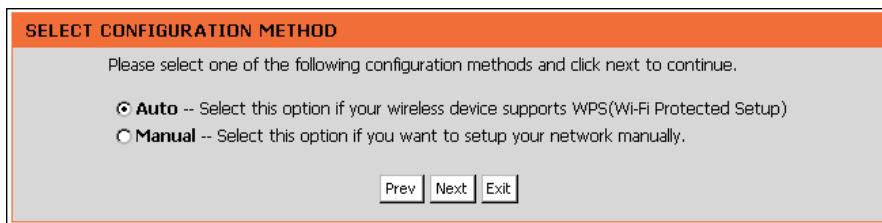
You may change the **admin** account password by entering in a new password. Click **Next** to continue.

Password   
Verify Password

**Prev** **Next** **Exit**

## SET UP(セットアップ)メニュー

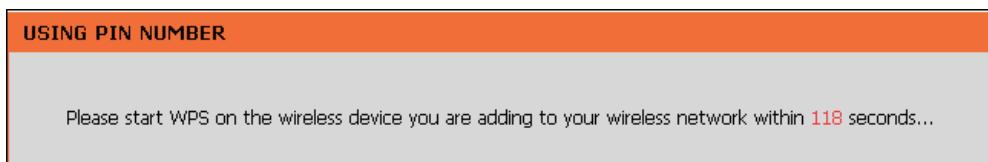
4. 使用する無線デバイスが WPS (WiFi Protected Setup) をサポートしている場合「Auto」を選択してください。手動で設定する場合「Manual」を選択してください。「Manual」を選択した場合の設定方法については、手順「9.」を参照してください。「Next」をクリックして設定を続けます。



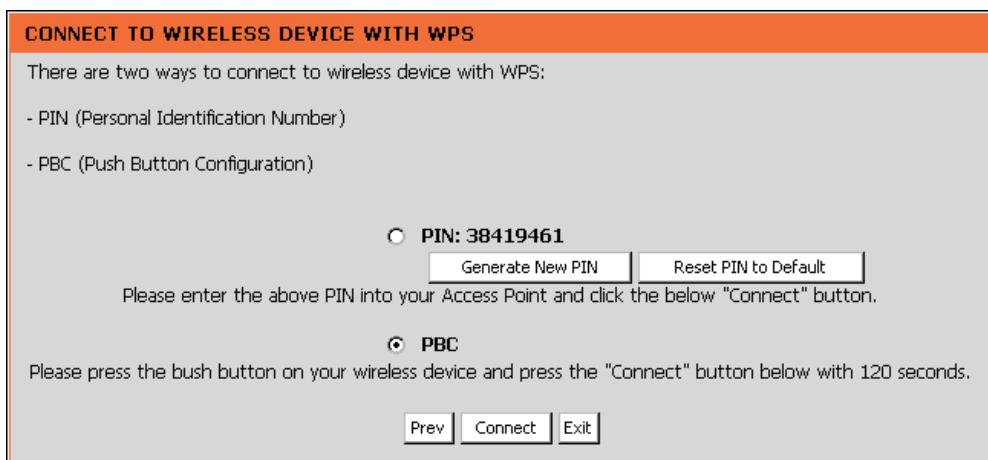
5. 「PIN」を選択し WPS モードでお使いの無線機器を接続します。「PBC」を選択する場合、手順「7.」を参照ください。「Connect」をクリックしてください。



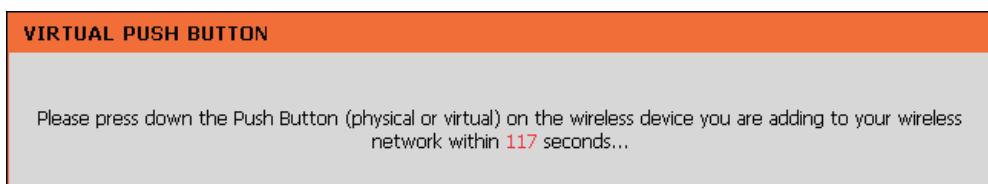
6. ワイヤレスネットワークに追加する無線デバイスの WPS を、表示されている秒数以内に開始してセットアップを完了します。



7. 手順「5.」で「PBC」を選択した場合、ボタンの押下によってネットワークへ接続します。「Connect」をクリックしてください。



8. ネットワークに加える無線デバイスのボタンを、表示されている秒数以内に押してセットアップを完了してください。



9. 手順「4.」で「Manual」を選択した場合、手動でネットワークを設定します。「Next」をクリックします。

**SELECT CONFIGURATION METHOD**

Please select one of the following configuration methods and click next to continue.

**Auto** (Select this option if you want to use WiFi-Protected Setup)  
 **Manual** (Select this option if you want to setup your network manually)

**Prev** **Next** **Exit**

10. アクセスポイントの無線ネットワーク名 (SSID) を入力して「Next」をクリックするか、「Site Survey」をクリックしてリストからアクセスポイントを探します。

**SET WIRELESS NETWORK NAME(SSID)**

You can enter the Wireless Network Name of AP or use site survey to find the AP.

Wireless Network Name (SSID):  **Site Survey**

**Prev** **Next** **Exit**

11. 「Site Survey」をクリックした場合、次の画面が表示されます。接続するアクセスポイントをリストから選択し、「Connect」をクリックしてセットアップウィザードを完了します。

**D-Link**

SSID	BSSID	Channel	Type	Encrypt	Signal	Select
dlink	00179a84c23f	1 (B+G)	AP	no	87	<input type="radio"/>
GE-356	00037fbef0eb	6 (B+G)	AP	WPA2-PSK	50	<input type="radio"/>
Apple Network 2b4a4b	001b632b4a4b	7 (B+G)	AP	no	40	<input type="radio"/>
DIR-615 R2	000364000124	11 (B+G)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	33	<input type="radio"/>
dlink	001b11740ca4	5 (B+G)	AP	no	32	<input type="radio"/>
7700g	0015e9c9c950	1 (B+G)	AP	no	30	<input type="radio"/>
dlink	0018e7235f32	2 (B+G)	AP	no	30	<input type="radio"/>
Home_11g	001b11b58924	11 (B+G)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	29	<input type="radio"/>
DIR-330	001b114c74cf	6 (B+G)	AP	WPA-PSK	24	<input type="radio"/>
dlink-320t	001b11b58930	6 (B+G)	AP	WPA-PSK	20	<input type="radio"/>
320-guest	001b11b58931	6 (B+G)	AP	no	20	<input type="radio"/>
dlink	00defa27a101	6 (B+G)	AP	no	16	<input type="radio"/>
PS	001195eb7d6e	1 (B+G)	AP	no	1	<input type="radio"/>

**Connect** **Exit**

12. 使用する認証モードを選択して、「Next」をクリックします。認証方法の詳細については「第8章 無線セキュリティについて」を参照ください。

**SELECT WIRELESS SECURITY MODE**

Please select the wireless security mode.

**None**  
 WEP  
 WPA  
 WPA2

**Prev** **Next** **Exit**

**注意** 各認証方法の詳細については「第8章 無線セキュリティについて」を参照ください。

## SET UP(セットアップ)メニュー

13. 「WEP」認証を選択した場合、キーの種類、サイズ、パスワードを入力し、「Next」をクリックしてセットアップウィザードを完了してください。

**SET YOUR WIRELESS SECURITY PASSWORD**

Please enter the wireless security password to establish wireless connection.

Key Type:

Key Size:

Wireless Security Password:

14. 「WPA」認証を選択した場合、「WPA Personal Passphrase」を入力し、「Next」をクリックしてセットアップウィザードを完了してください。

**SET YOUR WPA PERSONAL PASSPHRASE**

Please enter the WPA personal passphrase to establish wireless connection.

WPA Personal Passphrase:   
(8 to 63 characters)

15. 「WPA2」認証を選択した場合、「WPA2 Personal Passphrase」を入力し、「Next」をクリックしてセットアップウィザードを完了してください。

**SET YOUR WPA2 PERSONAL PASSPHRASE**

Please enter the WPA2 personal passphrase to establish wireless connection.

WPA2 Personal Passphrase:   
(8 to 63 characters)

16. ワイヤレスセットアップウィザードは完了しました。「Finish」をクリックして、機器を再起動します。

**CONNECT TO WIRELESS DEVICE**

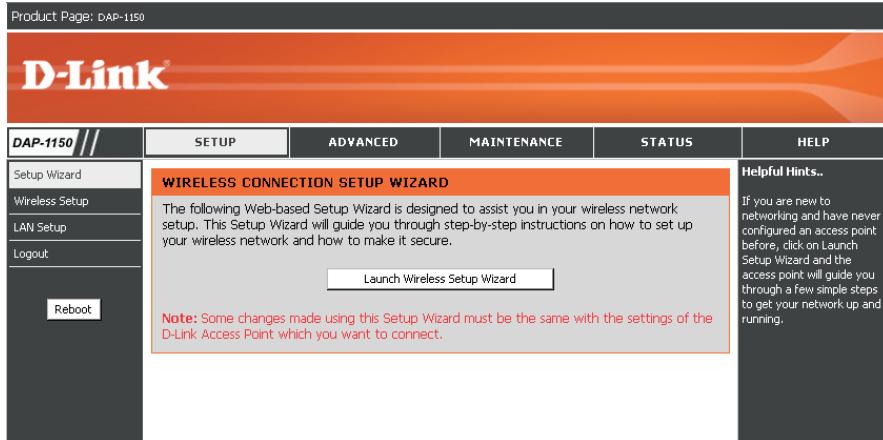
The wireless setup wizard has completed

## ワイヤレスセットアップウィザード（ワイヤレスクライアントモード）

## Wireless Client Mode（ワイヤレスクライアントモード）

本体背面「通信モード切り替えスイッチ」の「CLIENT」を選択し「ワイヤレスクライアントモード」での「Wireless Setup Wizard」を開始します。

- 「Launch Wireless Setup Wizard」をクリックしてください。



- お使いのデバイス名を設定します。「Device Name」にデバイス名を入力し「Next」をクリックしてください。初期値のままでも設定できますが、複数のアクセスポイントが同じサブネット内にある場合、デバイス名の設定をお勧めします。

**SET YOUR DEVICE NAME**

Enter the Device Name of the AP. Recommend to change the Device Name if there're more than one D-Link devices within the subnet. Click **Next** to continue.

Device Name (NetBIOS Name)

**Next** **Exit**

- アカウントのパスワードを変更する場合、新しいパスワードと確認のパスワードを入力し、「Next」をクリックします。

**SET YOUR NEW PASSWORD**

You may change the **admin** account password by entering in a new password. Click **Next** to continue.

Password

Verify Password

**Prev** **Next** **Exit**

- 使用する無線デバイスがWPS（WiFi Protected Setup）をサポートしている場合「Auto」を選択してください。手動で設定する場合「Manual」を選択してください。「Manual」を選択した場合の設定方法については、手順「9.」を参照してください。「Next」をクリックして設定を続けます。

**SELECT CONFIGURATION METHOD**

Please select one of the following configuration methods and click next to continue.

**Auto** -- Select this option if your wireless device supports WPS(Wi-Fi Protected Setup)

**Manual** -- Select this option if you want to setup your network manually.

**Prev** **Next** **Exit**

## SET UP(セットアップ)メニュー

5. 「PIN」を選択し WPS モードでお使いの無線機器を接続します。「PBC」を選択する場合、手順「7.」を参照ください。接続するアクセスポイントに「PIN」番号を入力し、「Connect」をクリックしてください。

**CONNECT TO WIRELESS DEVICE WITH WPS**

There are two ways to connect to wireless device with WPS:

- PIN (Personal Identification Number)
- PBC (Push Button Configuration)

**PIN: 38419461**

Please enter the above PIN into your Access Point and click the below "Connect" button.

**PBC**

Please press the bush button on your wireless device and press the "Connect" button below with 120 seconds.

6. ワイヤレスネットワークに追加する無線機器の WPS を開始してセットアップを完了します。

**USING PIN NUMBER**

Please start WPS on the wireless device you are adding to your wireless network within **118** seconds...

7. 手順「5.」で「PBC」を選択した場合、WPS 対応ボタンの押下によってネットワークへの接続をします。「Connect」をクリックしてください。

**CONNECT TO WIRELESS DEVICE WITH WPS**

There are two ways to connect to wireless device with WPS:

- PIN (Personal Identification Number)
- PBC (Push Button Configuration)

**PIN: 38419461**

Please enter the above PIN into your Access Point and click the below "Connect" button.

**PBC**

Please press the bush button on your wireless device and press the "Connect" button below with 120 seconds.

8. ネットワークに加える無線機器のプッシュボタンを押してセットアップを完了してください。

**VIRTUAL PUSH BUTTON**

Please press down the Push Button (physical or virtual) on the wireless device you are adding to your wireless network within **117** seconds...

9. 手順「4.」で「Manual」を選択した場合、手動でネットワークを設定します。「Next」をクリックします。

**SELECT CONFIGURATION METHOD**

Please select one of the following configuration methods and click next to continue.

**Auto** (Select this option if you want to use WiFi-Protected Setup)

**Manual** (Select this option if you want to setup your network manually)

10. アクセスポイントの無線ネットワーク名 (SSID) を入力して「Next」をクリックするか、「Site Survey」をクリックしてリストからアクセスポイントを探します。

**SET WIRELESS NETWORK NAME(SSID)**

You can enter the Wireless Network Name of AP or use site survey to find the AP.

Wireless Network Name (SSID):  Site Survey

Prev Next Exit

11. 「Site Survey」をクリックした場合、次の画面が表示されます。接続するアクセスポイントをリストから選択し、「Connect」をクリックしてセットアップウィザードを完了します。

**D-Link®**

SSID	BSSID	Channel	Type	Encrypt	Signal	Select
dlink	00179a84c23f	1 (B+G)	AP	no	87	<input type="radio"/>
GE-356	00037bef0eb	6 (B+G)	AP	WPA2-PSK	50	<input type="radio"/>
Apple Network 264a4b	001b632b4a4b	7 (B+G)	AP	no	40	<input type="radio"/>
DIR-615 R2	000364000124	11 (B+G)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	33	<input type="radio"/>
dlink	001b11740ca4	5 (B+G)	AP	no	32	<input type="radio"/>
7700g	0015e9c9c950	1 (B+G)	AP	no	30	<input type="radio"/>
dlink	0018e7235f32	2 (B+G)	AP	no	30	<input type="radio"/>
Home_11g	001b11b58924	11 (B+G)	AP	WPA-PSK/WPA2-PSK	29	<input type="radio"/>
DIR-330	001b114c74cf	6 (B+G)	AP	WPA-PSK	24	<input type="radio"/>
dlink-320t	001b11b58930	6 (B+G)	AP	WPA-PSK	20	<input type="radio"/>
320-guest	001b11b58931	6 (B+G)	AP	no	20	<input type="radio"/>
dlink	00defa27a101	6 (B+G)	AP	no	16	<input type="radio"/>
PS	001195eb7d6e	1 (B+G)	AP	no	1	<input type="radio"/>

Connect Exit

12. 使用する認証モードを選択して、「Next」をクリックします。認証方法の詳細については「第8章 無線セキュリティについて」を参照ください。

**SELECT WIRELESS SECURITY MODE**

Please select the wireless security mode.

None  
 WEP  
 WPA  
 WPA2

Prev Next Exit

**注意** 各認証方法の詳細については「第8章 無線セキュリティについて」を参照ください。

13. 「WEP」認証を選択した場合、キーの種類、サイズ、パスワードを入力し、「Next」をクリックしてセットアップウィザードを完了してください。

**SET YOUR WIRELESS SECURITY PASSWORD**

Please enter the wireless security password to establish wireless connection.

Key Type:

Key Size:

Wireless Security Password:

Prev Next Exit

## SET UP(セットアップ)メニュー

14. 「WPA」認証を選択した場合、「WPA Personal Passphrase」を入力し、「Next」をクリックしてセットアップウィザードを完了してください。

**SET YOUR WPA PERSONAL PASSPHRASE**

Please enter the WPA personal passphrase to establish wireless connection.

WPA Personal Passphrase:   
(8 to 63 characters)

**Prev** **Next** **Exit**

15. 「WPA2」認証を選択した場合、「WPA2 Personal Passphrase」を入力し、「Next」をクリックしてセットアップウィザードを完了してください。

**SET YOUR WPA2 PERSONAL PASSPHRASE**

Please enter the WPA2 personal passphrase to establish wireless connection.

WPA2 Personal Passphrase:   
(8 to 63 characters)

**Prev** **Next** **Exit**

16. ワイヤレスセットアップウィザードは完了しました。「Finish」をクリックして、機器を再起動します。

**CONNECT TO WIRELESS DEVICE**

The wireless setup wizard has completed

**Finish**

## Add Wireless Device With WPS (アクセスポイントの追加)

WPS (WiFi Protected Setup) を使用して無線デバイスを追加する場合は、「Add Wireless Device With WPS」をクリックしてください。

Product Page: DAP-1150

**D-Link**

**DAP-1150 //** **SETUP** **ADVANCED** **MAINTENANCE** **STATUS** **HELP**

**WIRELESS CONNECTION SETUP WIZARD**

If you would like to utilize our easy to use web-based wizard to assist you in connecting your DAP-1150 to the wireless network, click on the button below.

**Launch Wireless Setup Wizard**

**Note:** Some changes made using this Setup Wizard may require you to change some settings on your wireless client adapters so they can still connect to the D-Link Access Point.

**ADD WIRELESS DEVICE WITH WPS (WIFI PROTECTED SETUP) WIZARD**

This wizard is designed to assist you in connecting your DAP-1150 to wireless network using WPS. It will guide you through step-by-step instructions on how to get your wireless device connected. Click the button below to begin.

**Add Wireless Device With WPS**

**Helpful Hints..**

If you are new to networking and have never configured an access point before, click on Launch Setup Wizard and the access point will guide you through a few simple steps to get your network up and running.

1. 「PIN」を選択してネットワークに接続する無線デバイスの PIN 番号を入力してください。「PBC」を使用して設定する場合は手順「3.」を参照してください。

**ADD WIRELESS DEVICE WITH WPS (WI-FI PROTECTED SETUP)**

There are two ways to add wireless device to your wireless network:

- PIN (Personal Identification Number)
- PBC (Push Button Configuration)

**PIN:**

Please enter the PIN from your wireless device and click the below "Connect" button

**PBC**

Please press the bush button on your wireless device and press the "Connect" button

**Connect** **Exit**

2. 表示される秒数以内にネットワークに追加する無線デバイスの WPS 機能を開始してセットアップを完了してください。

**USING PIN NUMBER**

Please start WPS on the wireless device you are adding to your wireless network within **116** seconds...

3. 手順「1.」で「PBC」を選択した場合、ボタンの押下によってネットワークへの接続をします。「Connect」をクリックしてください。

**ADD WIRELESS DEVICE WITH WPS (WI-FI PROTECTED SETUP)**

There are two ways to add wireless device to your wireless network:

- PIN (Personal Identification Number)
- PBC (Push Button Configuration)

**PIN:**

Please enter the PIN from your wireless device and click the below "Connect" button

**PBC**

Please press the bush button on your wireless device and press the "Connect" button

**Connect** **Exit**

4. 表示される秒数以内にネットワークに加える無線デバイスのプッシュボタンを押してセットアップを完了してください。

**VIRTUAL PUSH BUTTON**

Please press down the Push Button (physical or virtual) on the wireless device you are adding to your wireless network within **117** seconds...

## Wireless Setup (無線設定)

「Wireless Setup Wizard」を使わずに、各通信モードでワイヤレスネットワークの設定を行います。

### AP モードの設定

AP モード (アクセスポイントモード) では、DAP-1150 を 802.11g 帯域の無線ネットワークの中心として無線アクセスポイントと無線クライアントのネットワークを構築します。

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
<b>WIRELESS NETWORK SETTINGS:</b>	
Wireless Mode	「Access Point」が表示されます。
Network Name (also called the SSID)	ワイヤレスネットワーク名を設定します。
Wireless Channel	無線チャンネルを設定します。「Auto Channel Scan」が初期値になっていますので、手動で設定する場合は「Enable Auto Channel Scan」からチェックボックスを外してください。
Enable Auto Channel Scan	ネットワークに最適な無線チャンネルを自動的に設定します。
Enable Hidden Wireless	SSID ブロードキャストを無効にします。ネットワークが「Site Survey」機能で検出されなくなります。そのためどの無線クライアントであっても、事前に SSID の設定をする必要があります。
<b>WIRELESS SECURITY MODE:</b>	
Security Mode	設定する認証方式を選択します。「None」「WEP」「WPA」「WPA2」「WPA2-Auto」から選択できます。認証方法の詳細については「第 8 章 無線セキュリティについて」を参照ください。
<b>WIFI PROTECTED SETUP ( ALSO CALLED WCN 2.0 IN WINDOWS VISTA ):</b>	
Wi-Fi Protected Setup	WPS (Wi-Fi Protected Setup) の有効 / 無効を設定します。
Lock Wireless Security	認証設定をロックして外部からの設定変更を防ぎます。
Current PIN	アクセスポイントの現在の PIN を表示します。
Generate New PIN	有効な PIN をランダムに作成します。ここで作成した PIN がアクセスポイントの PIN になります。登録のために PIN を保存してください。
Reset PIN to Default	PIN を初期値に戻します。
Reset to Unconfigured	WPS を未設定の状態に戻します。

設定を変更する際は、必ず「Apply Settings」ボタンをクリックし、設定内容を適用してください。

## リピータモードでの設定

リピータモードに設定すると無線ルーターなどの接続範囲の拡張などに使用することができます。

**WIRELESS NETWORK SETTINGS :**

Wireless Mode : **Repeater**

Wireless Network Name :  (Also called the SSID)

Wireless Channel :  (Domain:ETSI)

Enable Auto Channel Scan :

Enable Hidden Wireless :  (Also called Disable SSID Broadcast)

**WIRELESS SECURITY MODE :**

Security Mode :

**WIFI PROTECTED SETUP (ALSO CALLED WCN 2.0 IN WINDOWS VISTA) :**

Enable :

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
WIRELESS NETWORK SETTINGS:	
Wireless Network Name (also called the SSID)	ワイヤレスネットワーク名を設定します。
Site Survey	クリックして表示された接続リストからルートとなる AP を選択します。
Wireless Channel	ワイヤレスチャンネルは選択したルート AP と自動的に同調します。
Enable Auto Channel Scan	リピータモードでは設定できません。
Enable Hidden Wireless	リピータモードでは設定できません。
WIRELESS SECURITY MODE:	
Security Mode	・ 設定する認証方式を選択します。「None」「WEP」「WPA」「WPA2」から選択できます。認証方法の詳細については「第8章 無線セキュリティについて」を参照ください。
WIFI PROTECTED SETUP ( ALSO CALLED WCN 2.0 IN WINDOWS VISTA ):	
Enable	WPS (Wi-Fi Protected Setup) の有効 / 無効を設定します。

設定を変更する際は、必ず「Apply Settings」ボタンをクリックし、設定内容を適用してください。

## ワイヤレスクライアントモードでの設定

ワイヤレスクライアントモードでは、無線未対応の端末をワイヤレスクライアントとして動作させることができます。

**WIRELESS NETWORK SETTINGS :**

Wireless Mode :

Network Type :

Wireless Network Name :  (Also called the SSID)

Wireless Channel :  (Domain:ETSI)

Enable Auto Channel Scan :

Enable Hidden Wireless :  (Also called Disable SSID Broadcast)

**WIRELESS SECURITY MODE :**

Security Mode :

**WIFI PROTECTED SETUP ( ALSO CALLED WCN 2.0 IN WINDOWS VISTA ) :**

Enable :

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
<b>WIRELESS NETWORK SETTINGS:</b>	
Wireless Mode	「Wireless Client」が表示されます。
Network Type	無線PCなど他の無線クライアントと接続する場合は「Infrastructure」を選択、アドホックモードのDAP-1150などに接続する場合は「Ad-Hoc」を選択します。
Wireless Network Name	ワイヤレスネットワーク名を設定します。もしくは「Site Survey」をクリックして表示された接続リストからルートとなるAPを選択します。
Wireless Channel	本モードでは設定できません。
Enable Auto Channel Scan	本モードでは設定できません。
Enable Hidden Wireless	本モードでは設定できません。
<b>WIRELESS SECURITY MODE:</b>	
Security Mode	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定する認証方式を選択します。「None」「WEP」「WPA」「WPA2」から選択できます。認証方法の詳細については「第8章 無線セキュリティについて」を参照ください。</li> </ul>
<b>WIFI PROTECTED SETUP ( ALSO CALLED WCN 2.0 IN WINDOWS VISTA ):</b>	
Enable	WPS (Wi-Fi Protected Setup) の有効 / 無効を設定します。

設定を変更する際は、必ず「Apply Settings」ボタンをクリックし、設定内容を適用してください。

## LAN Setup (LAN 設定)

本製品の LAN インタフェースの IP、接続方法、デバイス名の設定を行います。LAN IP アドレスはネットワーク内部で使用され、インターネット上には公開されません。

**LAN CONNECTION TYPE :**

Choose the mode to be used by the Access Point.

My LAN Connection is :

**DYNAMIC IP (DHCP) LAN CONNECTION TYPE :**

IP Address Information.

IP Address :

Subnet Mask :

Gateway address :

**DEVICE NAME (NETBIOS NAME) :**

Device Name :

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
LAN CONNECTION TYPE:	
My LAN Connection is :	初期値は「Dynamic IP (DHCP)」です。DHCP による自動 IP アドレスの取得が出来ない場合、IP アドレスは「192.168.0.50」、サブネットは「255.255.255.0」となります。
DYNAMIC IP (DHCP) LAN CONNECTION TYPE:	
IP Address :	アクセスポイントの IP アドレスを入力します。
Subnet Mask :	アクセスポイントのサブネットマスクを入力します。
Gateway address :	ゲートウェイアドレスを入力します。ネットワークのルータの IP アドレスになります。
DEVICE NAME (NETBIOS NAME):	
Device Name :	TCP/IP プロトコルを使ったネットワーク上でのデバイスの設定をスムーズに行うために、IP アドレスの代わりに AP 名を入力します。

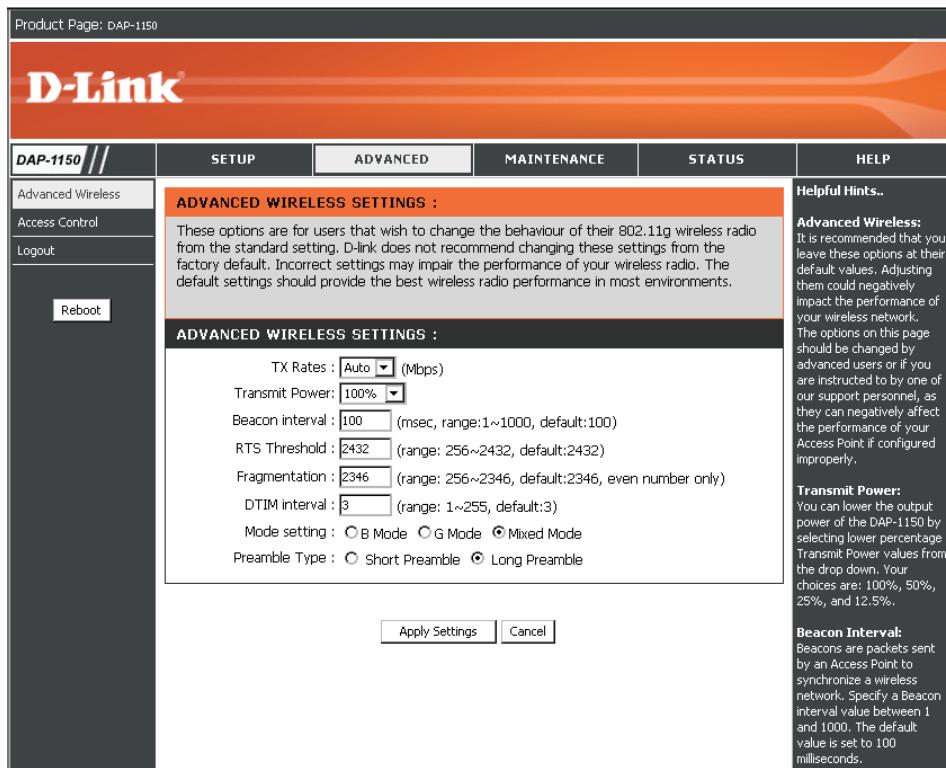
設定を変更する際は、必ず「Apply Settings」ボタンをクリックし、設定内容を適用してください。

## 第5章 Advanced (アドバンス) メニュー

以下は本章のサブメニューの説明です。必要に応じて、設定 / 変更 / 修正を行ってください。

サブメニュー	説明	参照ページ
Advanced Wireless (ワイヤレス詳細設定)	無線について管理者用項目の設定または表示をします。	<a href="#">36 ページ</a>
Access Control (アクセスコントロール設定)	MAC アドレスを使ったアクセス制御をします。	<a href="#">37 ページ</a>

「Advanced」メニューからサブメニューを選択します。



### Advanced Wireless (ワイヤレス詳細設定)

ADVANCED > Advanced Wireless の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

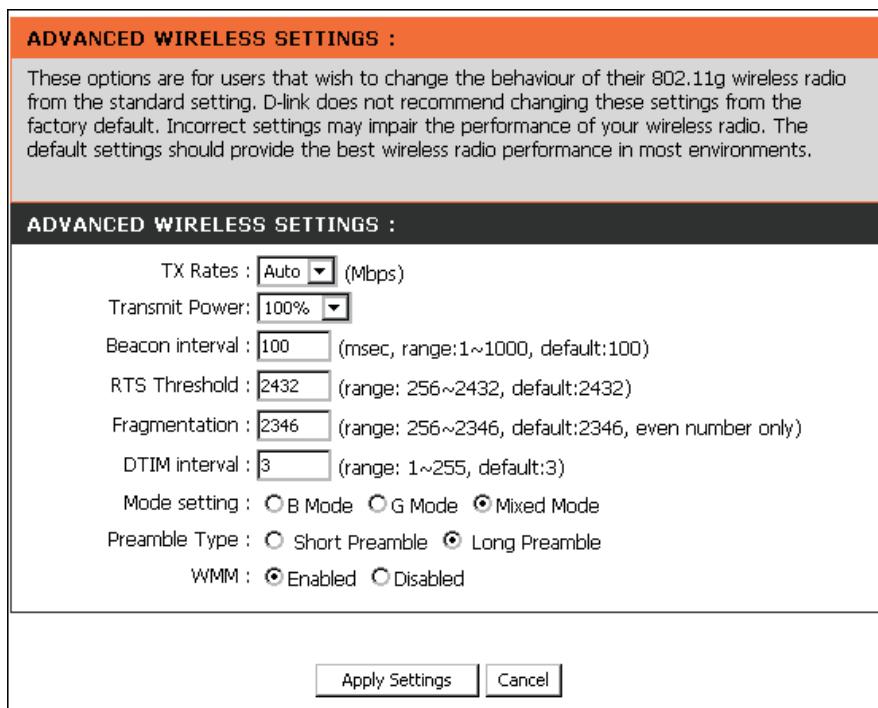


図 5-1 Administration Settings 画面

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
TX Rates	ネットワークの通信レート (TX Rate) を選択します。
Transmit Power	通信能力の割合を設定します。100%、50% (-3dB)、25% (-6dB)、12.5% (-9dB)
Beacon Interval	ワイヤレスネットワークとの接続調整のために AP からビーコンが送信されます。ビーコン送信間隔を設定します。初期値である 100 が推奨しています。
RTS Threshold	初期値 (2,432) のままにしておくことを推奨します。データフロー上に不具合が発生した場合でも、256 から 2,432 の間での変更を推奨します。
Fragmentation	初期値 (2,432) のままにしておくことを推奨します。パケットエラーが高い確率で発生した場合にフラグメンテーションのしきい値を 256 から 2,432 の間での減少させることを推奨します。しきい値を下げすぎるとパフォーマンスに悪影響を及ぼすことがあります。
DTIM Interval (Beacon Rate)	DTIM (Delivery Traffic Indication Message) は、マルチキャスト / ブロードキャストメッセージをリッスンするクライアントに通知するためのカウントダウンです。初期値は 3 です。1 から 255 の間で変更できます。
Mode Setting	最速の通信速度のためには「G Mode」を選択してください。802.11b と 802.11g 両方のデバイスが混在するネットワークでは「Mixed Mode」を選択してください。
Preamble Type	「Short Preamble」「Long Preamble」から選択します。初期値は「Long Preamble」です。「Preamble」は AP と無線ネットワークアダプタの通信における CRC ブロックの長さを決定します。ネットワークトラフィックが多い場合、「Short Preamble」の選択を推奨します。
WMM	WMM (Wi-Fi Multimedia) は AP モードでのみ設定が可能です。WMM は無線ネットワークへの QoS 機能を有効にします。WMM はトラフィックを「voice」「video」「best effort」「background」の 4 つのカテゴリーを元に、優先順位を決定しますが、確実なスループットを約束するものではありません。

## Access Control (アクセスコントロール設定)

ADVANCED > Access Control の順にメニューをクリックし、以下の画面を表示します。

**ACCESS CONTROL :**  
The DAP-1150 can be setup to deny or only allow access to wireless clients with the listed MAC addresses.

**WIRELESS ACCESS SETTINGS**  
Use the client's **MAC Address** to authorize network access through the Access Point.

Access Control :

MAC Address :  :  :  :  :  :

Connected PCs :

**MAC FILTER LIST**

MAC Address	Edit	Del
00-16-6f-4e-64-d8	<input type="button" value="Edit"/>	<input type="button" value="Del"/>

図 5-1 Administration Settings 画面

本画面には以下の項目があります。

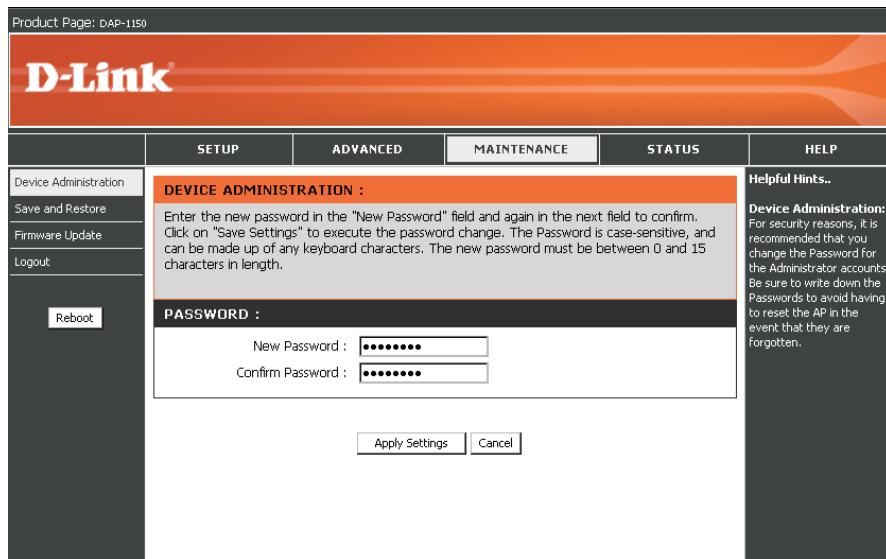
項目	説明
Access Control	アクセスコントロールの初期値は「Disable」です。AP へのアクセスを防ぐ場合「Reject」、許可する場合は「Accept」を選択してください。
MAC Address	アクセスを許可 / 不許可するクライアントの MAC アドレスを入力します。
Connected PCs	AP に接続している PC の MAC アドレスを選択してクリックすると、上部「MAC Address」欄にクリックした PC の MAC アドレスが表示されます。
MAC Filter List	設定した MAC アドレスのフィルターリストが表示されます。

## 第6章 Maintenance(メンテナンス)メニュー

以下は本章のサブメニューの説明です。  
必要に応じて、設定/変更/修正を行ってください。

サブメニュー	説明	参照ページ
Device Administration(パスワードの設定)	パスワードの変更、設定をします。	<a href="#">38ページ</a>
Save and Restore(セーブ/リストア)	構成設定の保存、リストアを行います。	<a href="#">39ページ</a>
Firmware Update	ファームウェアのアップデートを行います。	<a href="#">39ページ</a>

「Maintenance」メニューからサブメニューを選択します。



### Device Administration(パスワードの設定)

本製品のパスワードの設定を行います。

「Device Administration」メニューをクリックし、以下の画面を表示します。

**DEVICE ADMINISTRATION :**

Enter the new password in the "New Password" field and again in the next field to confirm. Click on "Save Settings" to execute the password change. The Password is case-sensitive, and can be made up of any keyboard characters. The new password must be between 0 and 15 characters in length.

**PASSWORD :**

New Password :

Confirm Password :

図 6-1 System Settings 画面

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
New Password	大文字小文字別、15 文字以内で新しいパスワードを入力します。
Confirm Password	「New Password」で入力したパスワードと同じパスワードを再度入力します。

## Save and Restore (セーブ / リストア)

本製品の現在の設定を保存、保存した設定情報のリストアを行います。

「Save and Restore」メニューをクリックし、以下の画面を表示します。

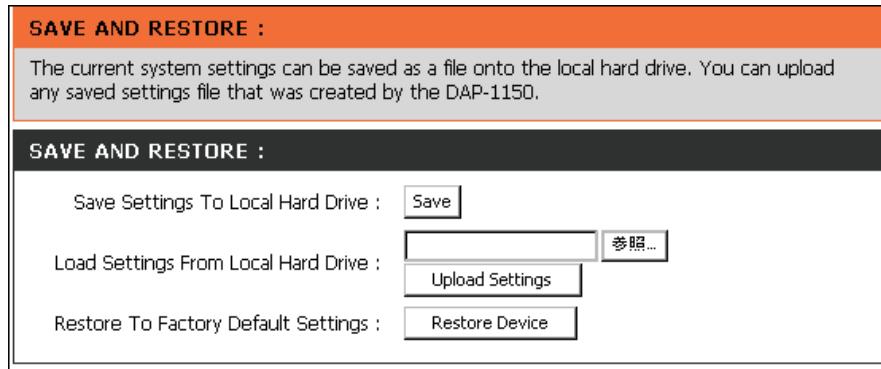


図 6-2 Help 画面

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
Save Settings To Local Hard Drive	「Save」をクリックして現在の設定内容を、ファイルとしてお使いのPCに保存します。
Load Settings From Local Hard Drive	「Browse」をクリックして保存してある設定ファイルを指定します。
Restore To Factory Default Settings	クリックすると全ての設定を初期値（工場出荷値）に戻します。初期値へ戻すと現在の設定は全て消えてしまいますので、戻す前に上記設定ファイルの保存を行い、現在の設定を保存するようにしてください。

## Firmware Update (ファームウェア更新)

本製品のファームウェアの更新を行います。

「Firmware Update」メニューをクリックし、以下の画面を表示します。

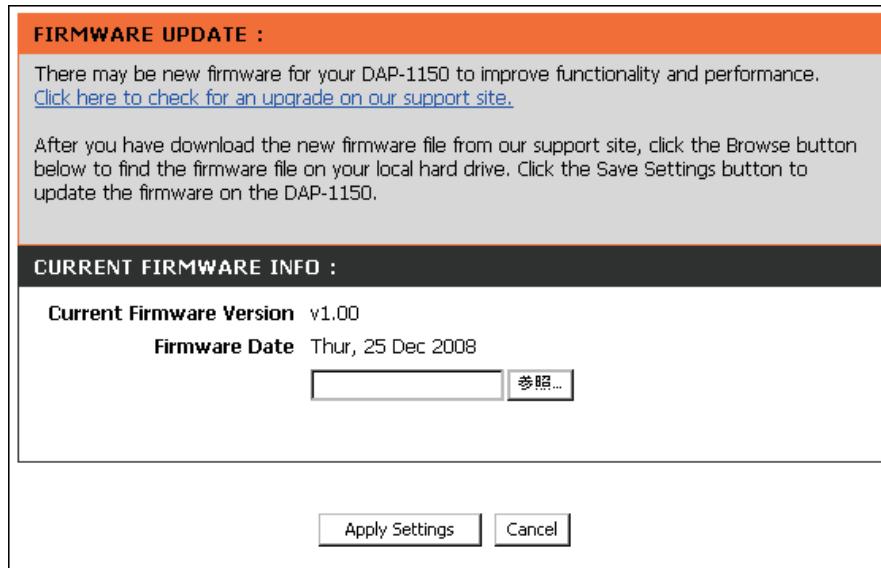


図 6-1 System Settings 画面

本画面には以下の項目があります。

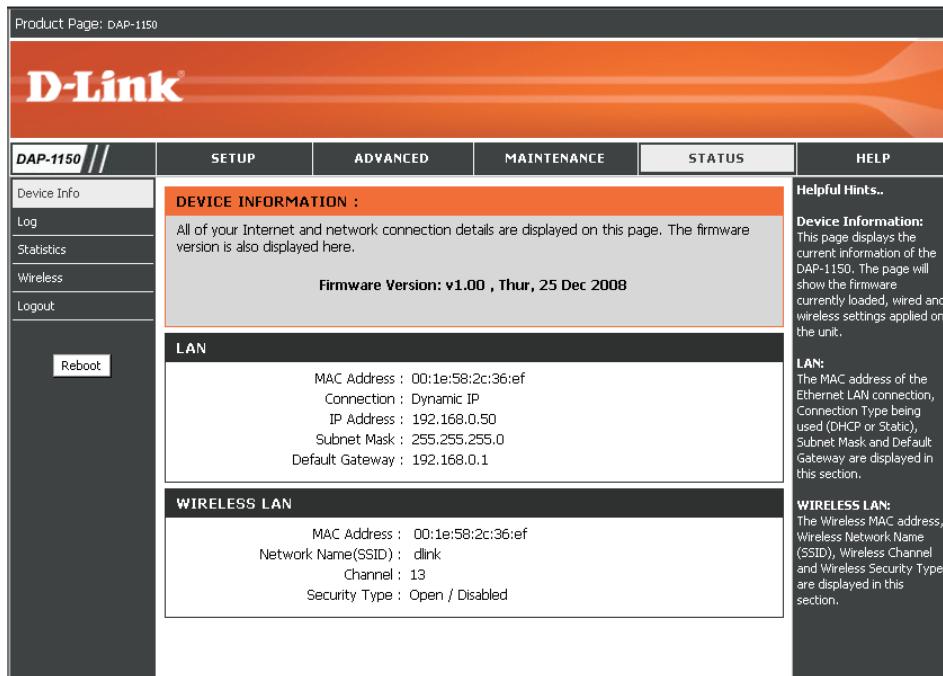
項目	説明
Click here to check for an update on our support site:	ここをクリックするとD-Linkのサポートサイトから最新のファームウェアをダウンロードすることができます。
Current Firmware Info:	「Browse」をクリックしてアップデートするファームウェアファイルの場所を特定します。「Apply Setting」をクリックしてファームウェアアップデートを開始します。

## 第7章 Status(ステータス)メニュー

以下は本章のサブメニューの説明です。必要に応じて、設定 / 変更 / 修正を行ってください。

サブメニュー	説明	参照ページ
Device Info(機器情報)	ファームウェアバーション、MACアドレスなど現在の情報を表示します。	<a href="#">41ページ</a>
Log(ログ情報)	APに発生したイベントや動作などが表示されます。再起動するとログは全て削除されます。	<a href="#">41ページ</a>
Statistics(統計情報)	トラフィックの統計が表示されます。LANや無線ネットワークを通過したパケットの量などが表示されます。機器を再起動すると全て削除されます。	<a href="#">42ページ</a>
Wireless(無線情報)	接続中の無線クライアントのMACアドレスと接続時間を表示します。	<a href="#">42ページ</a>

「Status」メニューからサブメニューを選択します。



## Device Info (機器情報)

Device Info をクリックし、以下の画面を表示します。

**DEVICE INFORMATION :**  
All of your Internet and network connection details are displayed on this page. The firmware version is also displayed here.

**Firmware Version:** v1.00 , Thur, 25 Dec 2008

**LAN**

MAC Address : 00:1e:58:2c:36:ef  
Connection : Dynamic IP  
IP Address : 192.168.0.50  
Subnet Mask : 255.255.255.0  
Default Gateway : 192.168.0.1

**WIRELESS LAN**

MAC Address : 00:1e:58:2c:36:ef  
Network Name(SSID) : dlink  
Channel : 13  
Security Type : Open / Disabled

図 5-1 Administration Settings 画面

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
DEVICE INFORMATION:	ファームウェアのバージョンとその日時が表示されます。
<b>LAN</b>	
MAC Address	機器の MAC アドレスが表示されます。
Connection	LAN の接続種類が表示されます
IP Address	LAN の IP アドレスが表示されます。
Subnet Mask	LAN のサブネットマスクが表示されます。
Default Gateway	LAN のデフォルトゲートウェイが表示されます。
<b>WIRELESS LAN</b>	
MAC Address	無線ネットワークの MAC アドレスが表示されます。
Network Name (SSID)	ネットワーク名 (SSID) が表示されます。
Channel	チャンネルが表示されます。
Security Type	セキュリティの有効 / 無効、種類が表示されます。

## Log (ログ)

Log メニューをクリックし、以下の画面を表示します。

**VIEW LOG :**  
View Log displays the activities occurring on the DAP-1150.

**LOG FILES :**

First Page | Last Page | Previous Page | Next Page | Clear Log | Log Settings  
Refresh

page 1 of 1

Time	Message

図 5-1 Administration Settings 画面

## Maintenance(メンテナンス)メニュー

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
First Page	最初のページを表示します。
Last Page	最後のページを表示します。
Previous Page	前のページを表示します。
Next Page	次のページを表示します。
Clear Log	全てのログを削除します。
Log Settings	ログの保存について設定します。
Refresh	ログの再読み込みをします。

## Statistic (統計)

Statistic メニューをクリックし、以下の画面を表示します。

TRAFFIC STATISTICS :		
Traffic Statistics display Receive and Transmit packets passing through the DAP-1150.		
Refresh	Receive	Transmit
LAN	607 Packets	737 Packets
WIRELESS	6391 Packets	508 Packets

図 5-1 Administration Settings 画面

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
LAN	LAN の送信 / 受信パケットの総計を表示します。
Wireless	無線ネットワークの送信 / 受信パケットを表示します。

## Wireless (無線)

Wireless メニューをクリックし、以下の画面を表示します。

CONNECTED WIRELESS CLIENT LIST :	
The Wireless Client table below displays Wireless clients connected to the AP (Access Point). In Wireless Client mode it displays the connected AP's MAC address and connected Time.	
Connected Time	MAC Address
365 sec	00:16:6f:4e:64:d8

図 5-1 Administration Settings 画面

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
Connected Time	無線クライアントの接続時間を表示します。
MAC Address	接続している無線クライアントの MAC アドレスを表示します。

## 第8章 無線セキュリティについて

本章ではお使いのデータを守る様々なタイプの無線セキュリティについて説明します。DAP-1150 は下記のセキュリティ方式に対応しています。

- WPA-Personal/Enterprise
- WPA2-Personal/Enterprise
- WPA2-Auto-Personal/Enterprise
- WEP

上記セキュリティ方式は主に「WEP」、「WPA/WPA2-Personal」、「WPA/WPA2-Enterprise」に分けて説明いたします。

### WEP 設定

一般的な WEP の設定方法について記載します。

**WIRELESS SECURITY MODE :**

Security Mode :

**WEP :**

WEP is the wireless encryption standard. To use it you must enter the same key(s) into the AP and the wireless stations. For 64 bit keys you must enter 10 hex digits into each key box. For 128 bit keys you must enter 26 hex digits into each key box. A hex digit is either a number from 0 to 9 or a letter from A to F. For the most secure use of WEP set the authentication type to "Open Key" when WEP is enabled.

You may also enter any text string into a WEP key box, in which case it will be converted into a hexadecimal key using the ASCII values of the characters. 5 text characters can be entered for 64 bit keys, and 13 characters for 128 bit keys.

Authentication : Open/Shared key  
 WEP Encryption : 64Bit  
 Key Type : HEX  
 Default WEP Key : WEP Key 1  
 WEP Key 1 :   
 WEP Key 2 :   
 WEP Key 3 :   
 WEP Key 4 :

項目	説明
Security Mode	「WEP」または「Enable WEP Security」を選択します。
Authentication	「Shared Key」または「Open」を選択します。
Encryption	「64-bit」「128-bit」の選択をします。
Key Type	「Hex」「ASCII」の選択をします。「Hex」(推奨値)は A-F までのアルファベットと、0-9 までの数が使用できます。「ASCII」は全てのアルファベット / 数字が使用可能です。
Default WEP Key	使用する「WEP Key」の初期値を設定します。「WEP Key」は下記で設定します。
WEP Key 1 - 4	「WEP Key」を 1 から 4 まで設定します。

上記設定後、「Save Settings」をクリックして設定を保存してください。無線アダプタでアクセスポイントの設定を行う場合、アダプタの WEP 設定で同じ WEP キーを設定するまで、接続できません。

## WPA、WPA2、WPA2-Auto (Personal) の設定

WPA、WPA2、WPA2-Auto の Personal の設定について説明します。

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
Security Mode	「Enable WPA Wireless Security」、「Enable WPA2 Wireless Security」、「Enable WPA2-Auto Wireless Security」のどれかを選択します。
Cipher Type	「TKIP」「AES」「Auto」のどれかを選択します。
PSK / EAP	「Personal」を選択をします。
Passphrase	パスフレーズは 8 文字から 63 文字の英数字で設定できます。「!」「?」「*」「&」「_」なども使用可能です。必ず他の無線クライアントでも同じパスフレーズを設定してください。
Confirmed Passphrase	「Passphrase」で入力したパスフレーズを再度入力してください。

上記設定後、「Save Settings」をクリックして設定を保存してください。無線アダプタでアクセスポイントの設定を行う場合、アダプタの WPA 設定で同じ WPA パスフレーズを設定するまで、接続できません。

## WPA、WPA2、WPA2-Auto (Enterprise) の設定

WPA、WPA2、WPA2-Auto の Enterprise の設定について説明します。

**WIRELESS SECURITY MODE :**

Security Mode :

**WPA :**

WPA requires stations to use high grade encryption and authentication.

Cipher Type :

PSK / EAP :

**802.1X**

RADIUS Server 1 : IP	<input type="text"/>
Port	<input type="text" value="1812"/>
Shared Secret	<input type="text"/>
RADIUS Server 2 : IP	<input type="text"/>
Port	<input type="text" value="1812"/>
Shared Secret	<input type="text"/>

本画面には以下の項目があります。

項目	説明
Security Mode	「Enable WPA Wireless Security」、「Enable WPA2 Wireless Security」、「Enable WPA2-Auto Wireless Security」のどれかを選択します。
Cipher Type	「TKIP」「AES」「Auto」のどれかを選択します。
PSK / EAP	「Enterprise」を選択をします。
RADIUS Server : IP	使用する RADIUS サーバの IP アドレスを入力します。
Port	RADIUS サーバに使用するポート番号を入力します。初期値は「1812」です。
Shared Secret	セキュリティキーを入力します。

上記設定後、「Save Settings」をクリックして設定を保存してください。

## 付録A 工場出荷時設定に戻す

リセットボタンを押下することで本製品の設定を工場出荷状態に戻します。

1. 必要に応じて設定ファイルのバックアップを行います。
2. リセットボタンを押した状態で本製品に電源を入れ、10秒間ボタンを押し続けます。
3. リセットボタンを放すと本製品は再起動します。
4. アクセスポイントに接続するまで約30秒お待ちください。初期値は「192.168.0.50」です。ログイン名は「admin」、パスワードには何も入力しません。

**注意** 必ずご使用の製品の設定を保存してください。リセットボタンを押下すると、すべての設定が消去されます。

## 付録B よくお問い合わせいただく述問(FAQ)

ここでは、本製品の設定時や運用時における問題の解決法について説明します。ネットワークの設定からLANアダプタのトラブルなどについて記載しています。問題が発生した場合、はじめにこの項をお読みください。

**注意** 本製品の設定を行うためには、設定用PCと本製品を直接UTPケーブルで接続することをお勧めします。

1. 本製品の設定を行うコンピュータからWebベースの設定メニューにアクセスできません。
  - 本製品前面にあるLAN LEDが点灯していることを確認してください。LEDが点灯していない場合は、UTPケーブルが正しくポートに接続されているか確認してください。
  - LANアダプタが正常に動作しているか確認してください。ネットワークアダプタのドライバが正しくインストールされているかチェックします(トラブルシューティングの3.を参照してください)。
  - 設定用PCのIPアドレスが本製品と同じアドレス範囲およびサブネット内であることを確認してください。

**注意** 本製品のIPアドレスの初期値は192.168.0.50です。同じネットワーク内のすべてのコンピュータは同じアドレス範囲内の固有のアドレスを持つ必要があります(例:192.168.0.x)。同じIPアドレスを持つコンピュータがあるとネットワーク上で認識できなくなります。また、ネットワーク内のPCはすべて同じサブネットマスクである必要があります(例:255.255.255.0)。

- WebブラウザがInternet Explorer 6.0以降であることを確認してください。
- コンピュータ上のすべてのインターネットセキュリティソフトウェアの動作を無効にしてください。Zone Alarm、Black Ice、Sygate、Norton Personalファイアウォール、およびWindows XPファイアウォールなどのソフトウェアファイアウォールは設定ページへのアクセスを妨害する可能性があります。それらの無効および設定に関する詳しい情報についてはご使用のファイアウォールソフトウェアに含まれるヘルプファイルをチェックしてください。
- 次の手順でインターネット設定を行います。
  - 1) Windowsの「スタート」-「コントロールパネル」の順にクリックして「インターネットオプション」アイコンをダブルクリックします。「セキュリティ」タブで設定を初期値に戻すボタンをクリックします。
  - 2) 「接続」タブをクリックし、ダイアルアップオプションを「ダイヤルしない」に設定します。「LANの設定」ボタンをクリックします。チェックが入っていないことを確認します。「OK」をクリックします。
  - 3) 「詳細設定」タブをクリックし、「規定値に戻す」をクリックし、設定を初期値に戻します。「OK」ボタンを3回クリックします。
  - 4) ブラウザを開いている場合は、これを終了します。
  - 5) Web管理ユーティリティにアクセスします。ご使用のWebブラウザを開き、アドレスバーに本製品のIPアドレスを入力します。Web管理のためのログインページが開きます。
- Pingコマンドを実行し、本製品から応答があるかどうかを確認してください。Windowsの「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「cmd」と入力して「OK」ボタンをクリックします。表示された画面で「ping 192.168.0.50」と入力します。正しく接続が行われていると4回リプライがあります。
- まだ設定画面にアクセスできない場合、10秒間本製品からACアダプタを抜いた後、再度ACアダプタを接続します。さらに約30秒待ってから、設定画面にアクセスしてみてください。複数のコンピュータがある場合、違うコンピュータを使用して接続を試してみてください。

**注意** 本製品のIPアドレスを変更した場合は、設定した正しいIPアドレスにping送信を行ってください。

**2. インフラストラクチャモードで通信を行う時、無線 LAN クライアントからインターネットにアクセスできません。**

無線クライアントが正しいアクセスポイントに接続していることを確認します。接続を確認するためには、タスクバーの「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、「ワイヤレスネットワーク接続」をクリックします。「ワイヤレスネットワークへの接続」画面が表示されます。正しいネットワークに接続していることを確認してください。確認方法の詳細についてはご使用の無線 LAN アダプタ付属のマニュアルを参照してください。

- 無線 LAN アダプタに割り当てた IP アドレスが、アクセスポイントおよびゲートウェイと同じ IP アドレス範囲にあることを確認してください。本製品の IP アドレスの初期値は 192.168.0.50 であるため、無線 LAN アダプタは同じアドレス範囲の IP アドレスを持つ必要があります（例:192.168.0.x）。各デバイスは独自の IP アドレスを持つ必要があります。ネットワーク内の PC にはすべて同じサブネットマスクを設定します。無線 LAN アダプタに割り当てられた IP アドレスを確認するためには、タスクバー上の「ローカルエリア接続」アイコン上でダブルクリックし、表示された画面で「サポート」タブをクリックすると、IP アドレスが表示されます。
- 必要に応じて無線 LAN アダプタにスタティック IP アドレスを割り当てます。DNS サーバアドレスを設定した場合は、デフォルトゲートウェイのアドレスの設定も行う必要があります。ただし、DHCP 機能搭載ルータを使用している場合は、スタティック IP アドレスの設定は必要ありません。

**3. 受信の障害となる可能性のある要因は何ですか？**

弊社無線 LAN 製品は好きな場所からのネットワークアクセスを可能にしますが、製品の設置環境によっては無線範囲に影響が出る場合があります。

**4. 無線接続が途切れます。**

- アンテナの方向-アンテナの向きを変えてみてください。またアンテナが壁や物から 15cm 以上離れるように本製品を設置してみてください。
- 2.4GHz 帯デジタルコードレス電話、X10 モジュールなどを使用したホームセキュリティシステム、天井設置型の扇風機、電灯、他の無線製品電波などとの干渉により、通信品質が激しく低下して通信ができなくなる場合があります。ご使用のルータ、アクセスポイントおよび無線 LAN アダプタのチャンネルを変えて、干渉を回避してください。
- 本製品は、電子レンジやモニタ、モータなど RF ノイズを発生する電気機器から 90 ~ 180cm 以上離した場所に設置してください。

**5. 無線 LAN 接続ができません。**

本製品で暗号化設定を行っている場合は、無線 LAN クライアント側も同じ暗号方式を有効にする必要があります。

- ルータおよび無線 LAN クライアントに同じ SSID が設定されていることを確認してください。異なる SSID が設定されていると接続ができません。
- 本製品と無線 LAN クライアントを同じ部屋に移動して接続してみてください。
- すべてのセキュリティ設定を無効にして接続してみてください。
- 本製品と無線 LAN クライアントの電源をオフにしてください。再度本製品の電源を入れ、次に無線 LAN クライアントの電源を入れてください。
- すべてのデバイスがインフラストラクチャモードに設定されていることを確認してください。
- LED が正常な表示をしているかを確認してください。正常に表示されていない場合は電源ケーブルや LAN ケーブルがしっかりと接続されているかどうかを点検してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイおよび DNS の設定がネットワーク内のすべてのデバイスで正しく行われていることを確認してください。
- 2.4GHz 帯デジタルコードレス電話、X10 モジュールなどを使用したホームセキュリティシステム、天井設置型の扇風機、電灯、他の無線製品電波などとの干渉により、通信品質が激しく低下して通信ができなくなる場合があります。本製品とネットワーク上のすべてのデバイスのチャンネルを変えて、干渉を回避してください。
- 本製品は、電子レンジやモニタ、モータなど RF ノイズを発生する電気機器から 90 ~ 180cm 以上離した場所に設置してください。

**6. パスワードを忘れてしまいました。**

パスワードを忘れた場合、本製品のリセットを行う必要があります。リセットを行うと、すべての設定は工場出荷時設定に戻ります。本製品をリセットするために、製品背面にあるリセットボタンを使用します。クリップなどでリセットボタンを押した状態で本製品に電源を入れ、10 秒間ボタンを押し続けます。ボタンを放すと本製品が再起動します。アクセスポイントに接続するまで約 30 秒お待ちください。初期値は「192.168.0.50」です。ログイン名は「admin」、パスワードには何も入力しません。

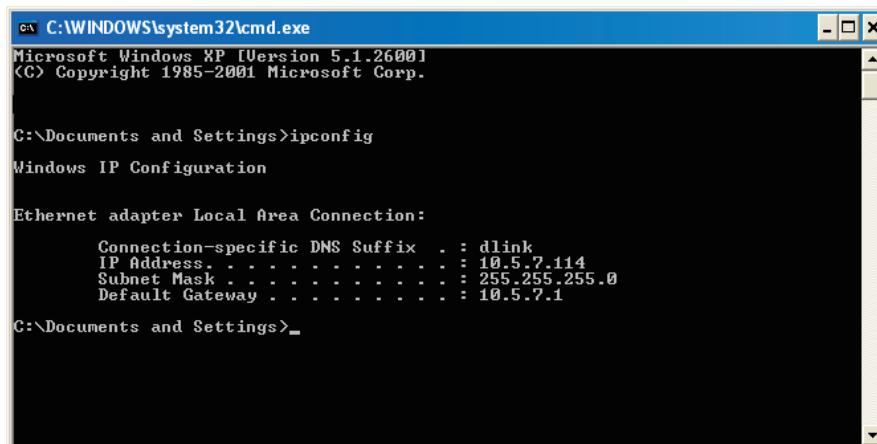
## 付録C 基本的なネットワークの設定

### IP アドレスのチェック

新しく無線アダプタをコンピュータに取り付けた後に、TCP/IP 設定の初期値は、自動的に IP アドレスを DHCP サーバ(すなわち無線ルータ)から取得するように設定される必要があります。

以下の手順で IP アドレスを確認します。

1. Windows の「スタート」メニュー>「ファイル名を指定して実行」を選択します。
2. 「ファイル名を指定して実行」ダイアログで「cmd」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。(Windows Vista ユーザは「Start Search」ボックスに「cmd」と入力します。) プロンプトが表示されたら、「ipconfig」と入力し、「Enter」を押します。



```

cmd C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\Documents and Settings>ipconfig
Windows IP Configuration

Ethernet adapter Local Area Connection:
  Connection-specific DNS Suffix . : dlink
  IP Address . . . . . : 10.5.7.114
  Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
  Default Gateway . . . . . : 10.5.7.1

C:\Documents and Settings>_

```

図 B-1 ipconfig の実行画面

3. アダプタの IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイが表示されます。

アドレスが 0.0.0.0 である場合、アダプタのインストール、セキュリティ設定、およびルータの設定をチェックしてください。いくつかのファイアウォールソフトウェアプログラムは新しく取り付けられたアダプタ上の DHCP リクエストを防御する場合があります。ホットスポット(例えばホテル、コーヒーショップ、空港)で無線ネットワークと接続している場合、その無線ネットワーク設定については従業員または管理者にご確認ください。

## 固定 IP アドレスの割り当て

DHCP が有効でないゲートウェイ / ルータを使用している場合、または固定 IP アドレスを割り当てる必要がある場合、以下の手順で設定します。

1. Windows Vista では「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共有」-「ネットワーク接続の管理」の順にクリックします。Windows XP では「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワーク接続」の順にクリックします。
2. 設定するネットワークアダプタを表す「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。
3. 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。
4. 「次の IP アドレスを使う」をクリックし、ご使用のネットワークまたはルータ上の LAN 側 IP アドレスと同じサブネット上にある IP アドレスを入力します。

### 使用例：

ルータの LAN 側 IP アドレスが 192.168.0.1 である場合、192.168.0.X(X:2 ~ 99 の数字)とします。選択する番号がネットワーク上で使用されていないことを確認してください。「デフォルトゲートウェイ」をルータの LAN 側 IP アドレス(192.168.0.1)と同じにします。「優先 DNS サーバー」をルータの LAN 側 IP アドレス(192.168.0.1)と同じにします。「代替 DNS サーバー」は必要でないか、ご契約の ISP から通知されている DNS サーバを入力することができます。

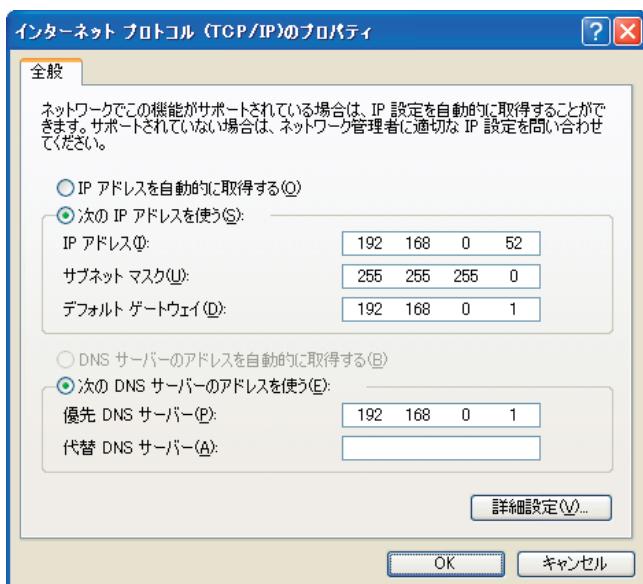


図 B-2 インターネットプロトコル

5. 「OK」ボタンをクリックし、設定を保存します。